

日商簿記 3 級合格講座 問題集 目次

問題編	1
-----	-------	---

解答編	98
-----	-------	----

(校) 200203-1

Chapter. 1 簿記とは

1 簿記の5要素

■ 問題 1-1 ■ 仕訳をするときの方向に○をつけてください。

1. 資産は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
2. 負債は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
3. 純資産は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
4. 収益は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
5. 費用は増えたら(左・右)減いたら(左・右)

■ 問題 1-2 ■ 仕訳をするときの方向に○をつけてください。

1. 現金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
2. 当座預金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
3. 売掛金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
4. 買掛金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
5. 資本金は増えたら(左・右)減いたら(左・右)
6. 売上は増えたら(左・右)減いたら(左・右)
7. 仕入は増えたら(左・右)減いたら(左・右)
8. 支払利息は増えたら(左・右)減いたら(左・右)
9. 受取利息は増えたら(左・右)減いたら(左・右)

■ 問題 1-3 ■ グループの違う科目に○をつけてください。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. | 現 | 金 | 当 | 座 | 預 | 金 | 売 | 掛 | 金 | 借 | 入 | 金 | | | | |
| 2. | 建 | 物 | 備 | | 品 | | 貸 | 付 | 金 | 売 | | 上 | | | | |
| 3. | 仕 | 入 | 資 | 本 | 金 | | 通 | 信 | 費 | 支 | 払 | 利 | 息 | | | |
| 4. | 受 | 取 | 利 | 息 | | 受 | 取 | 商品券 | | 貸 | 付 | 金 | 受 | 取 | 手 | 形 |

Chapter. 2 仕訳

2**現金のある仕訳**

■ 問題 2-1 ■ 次の取引について仕訳しなさい。勘定科目は下記から選ぶこと。

現	金	備	品	貸	付	金	売	掛	金	借	入	金
壳	上		受取手数料	仕	入		給		料	支	払	利息

1. 銀行より現金¥5,000を借入れた。

(借方) 5,000 (貸方) 5,000

2. 備品¥3,000を購入して、現金で支払った。

(借方) 3,000 (貸方) 3,000

3. 給料¥5,000を現金で支払った。

(借方) 5,000 (貸方) 5,000

4. 商品¥3,000を仕入れ、現金で支払った。

(借方) 3,000 (貸方) 3,000

5. 取引先から仲介手数料として¥800を現金で受け取った。

(借方) 800 (貸方) 800

6. 取引先に現金¥2,500を貸し付けた。

(借方) 2,500 (貸方) 2,500

7. 上記1の銀行借入¥5,000を利息¥200と合わせ、現金で返済した。

(借方) 5,000 (貸方) 5,200

(借方) 200

8. 上記4の商品を¥5,000で売上げ、代金は掛とした。

(借方) 5,000 (貸方) 5,000

■ 問題 2-2 ■ 次の取引について仕訳しなさい。勘定科目は下記から選ぶこと。

現 金	備 品	貸 付 金	売 掛 金	借 入 金
売 上	受 取 手 数 料	仕 入	支 払 家 賃	水 道 光 熱 費

4 日 備品￥250,000 を購入し、代金を現金で支払った。

8 日 大阪商店に現金￥140,000 を貸し付けた。

10 日 手数料￥5,000 を現金で受け取った。

18 日 大阪商店に対する貸付金￥140,000 のうち￥40,000 を現金で返済を受けた。

25 日 家賃￥75,000 と光熱費￥15,000 を現金で支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
4				
8				
10				
18				
25				

Chapter. 3 商品売買①

3 分法と分記法

■ 問題 3-1 ■ 次の取引について、3分法と分記法で仕訳しなさい。勘定科目は下記から選ぶこと。

現 金 商 品	金 借 品 給	入 金 料	仕 入 商 品	入 売 買 益	上
------------------	------------------	-------------	------------------	------------------	---

5 日 取引銀行より現金¥200,000を借り入れた。

10 日 大阪商店より商品¥150,000を仕入れ、代金は現金で支払った。

15 日 東京商店に上記の商品を¥280,00で販売し、代金は現金で受け取った。

20 日 従業員に給料¥50,000を現金で支払った。

30 日 借入金のうち¥30,000を現金で返済した。

3分法	借方科目	金額	貸方科目	金額
5				
10				
15				
20				
30				

分記法	借方科目	金額	貸方科目	金額
5				
10				
15				
20				
30				

4

商品の仕入れ

■ 問題 4-1 ■

1. 商品¥34,000を購入し、現金で支払った。
2. 商品の購入を行い、代金¥30,000は月末払いとした。
3. 港商店から商品¥300,000を仕入れ、代金のうち¥100,000は現金で支払い、残額の¥200,000は掛とした。
4. 商品¥250,000を仕入れ、¥200,000を現金で支払い、残額は翌月末払いとした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

5

商品の売上げ

■ 問題 5-1 ■

1. 須磨商店に商品¥260,000を売り上げ、代金のうち¥50,000は須磨商店振出しの小切手で受け取り、残額については掛とした。
2. 二色商店へ商品¥180,000を売り上げ、現金¥50,000を受け取り、残額は掛とした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

6 売掛金元帳

■ 問題 6-1 ■

下記の取引を参考にして、当社の得意先元町商店に関する10月分売掛金元帳を完成させなさい。

- 10月1日 元町商店に対する9月末の売掛金未回収額は¥35,000であった。
- 5日 元町商店に商品¥150,000を販売して、¥50,000は元町商店振出の小切手を受取り、残額は掛とした。
- 10日 元町商店より売掛金¥50,000が当座預金口座へ入金された。
- 15日 5日に販売した商品に一部欠陥があるため¥10,000の返品を受け掛け代金と相殺した。
- 26日 元町商店に商品¥80,000を販売して、代金は掛とした。

売掛金元帳 元町商店

○1年		摘要	借 方	貸 方	借/貸	残 高
10	1	前月繰越				
	5	売上				
	10	当座入金				
	15	返品				
	26	売上				
	31	次月繰越				
11 1		前月繰越				

■ 問題 6-2 ■

次の取引により、答案用紙の売掛金元帳(神戸商事)への記入を示し、7月31日付で締め切りなさい。

- 7月1日 売掛金の前月繰越しは￥500,000(内訳；神戸商事￥300,000、兵庫商店￥200,000)である。
- 8日 神戸商事に商品￥280,000を売り渡し、代金は掛けとした。
- 17日 神戸商事に対して8日に売り渡した商品の中に不良品があり、￥36,000分が返品された。なお、代金は同店に対する売掛金から差し引いた。
- 23日 神戸商事に商品￥400,000、兵庫商店に商品￥620,000をそれぞれ売り渡し、代金は掛けとした。
- 30日 神戸商事に対する売掛金￥900,000、兵庫商店に対する売掛金￥500,000を、それぞれ先方振出しの小切手で回収し、ただちに当座預金に預け入れた。

売掛金元帳
神戸商事

○1年		摘要	借 方	貸 方	借/貸	残 高
7	1	前月繰越し				
	8	売上				
	17	返品				
	23	売上				
	30	当座入金				
	31	次月繰越し				
8	1	前月繰越し				

7

買掛金元帳

■ 問題 7-1 ■

次の取引を解答用紙の買掛金元帳(東灘商店)に記入し、月末にこの帳簿を締め切りなさい。

9月1日 買掛金の前月繰越しは¥660,000(須磨商店¥300,000、東灘商店¥360,000)

4日 東灘商店から商品¥120,000を掛で仕入れた。

9日 上記商品のうち¥12,000を品違いにより返品した。

15日 須磨商店から¥160,000、東灘商店から¥200,000の商品を掛で仕入れた。

28日 東灘商店へ買掛代金のうち¥300,000を、小切手を振り出して支払った。

買掛金元帳
東灘商店

○1年		摘要	借 方	貸 方	借/貸	残 高
9	1	前月繰越し				
	4	仕 入				
	9	返 品				
	15	仕 入				
	28	当 座 支 払				
	30	次月繰越し				
10	1	前月繰越し				

■ 問題 7-2 ■

次の取引により、答案用紙の買掛金元帳(大石商店)への記入を示し4月30日付けで締め切りなさい。

4月1日 買掛金の前月繰越高は¥420,000(内訳;大石商店¥220,00、春日商店¥200,000)である。

5日 大石商店より商品¥300,000を仕入れ、代金のうち¥100,00は現金で支払い、残額は掛けとした。

8日 大石商店より7日に仕入れた商品について¥10,000の返品を行い、掛け代金より差し引かれた。

16日 大石商店より商品¥350,000、春日商店より商品¥190,000をそれぞれ仕入れ、代金は掛けとした。

25日 大石商店に対する買掛金¥600,000、春日商店に対する買掛金¥140,000を、それぞれ小切手を振り出して支払った。

買掛金元帳
大石商店

○1年		摘要	借 方	貸 方	借/貸	残 高
4	1	前月繰越				
	5	仕 入				
	8	返 品				
	16	仕 入				
	25	当座支払				
	30	次月繰越				
5 1		前月繰越				

Chapter. 4 クレジット売掛金

8

クレジット売掛金

■ 問題 8-1 ■

1. 商品￥20,000 をクレジット払いの条件で販売した。なお信販会社への手数料￥1,000 は販売時に計上する。
2. 上記1の信販会社より手数料を差し引かれた残額￥19,000 が当座預金口座に振り込まれた。
3. 商品￥10,000 をクレジット払いの条件で販売した。なおカード会社への手数料(5%)は販売時に計上する。
4. カード会社より上記3. の残額が当座預金口座に入金された。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

Chapter. 5 転記

9

転記

■ 問題 9-1 ■

次の取引について仕訳するとともに、与えられた勘定に転記しなさい。なお、転記にあたっては日付、相手科目、金額を記入すること。

4月1日 銀行から現金¥1,000,000を借り入れた。

12日 京都商店より商品¥500,000を仕入れ、代金は現金で支払った。

24日 滋賀商店に商品を¥400,000で販売し、代金は現金で受け取った。

30日 借入金のうち¥50,000を利息¥1,000とともに現金で返済した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
4/1				
12				
24				
30				

現 金

借 入 金

仕 入

売 上

支 払 利 息

■ 問題 9-2 ■

次の取引について仕訳するとともに、与えられた勘定に転記しなさい。なお、転記にあたっては日付、相手科目、金額を記入すること。

5月 1 日 銀行から現金¥500,000 を借り入れた。

6 日 営業用の土地¥200,000 と建物¥150,000 を購入し、代金は現金で支払った。

11 日 東京商店に現金¥30,000 を貸し付けた。

17 日 手数料¥8,000 を現金で受け取った。

25 日 従業員に対する給料¥20,000 と交通費¥3,000、広告費¥2,000 を現金で支払った。

31 日 東京商店より貸付金のうち¥20,000 を利息¥1,500 とともに現金で受け取った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
5/1				
6				
11				
17				
25				
31				

現 金

土 地

貸 付 金

建 物

借 入 金

受 取 利 息

受 取 手 数 料

旅 費 交 通 費

給 料

広 告 宣 伝 費

Chapter. 6 商品売買②

10 返品（仕入戻し）

■ 問題 10-1 ■

1. 磯上商店から商品￥320,000 を仕入れ、代金は掛けとした。
2. 1 の商品のうち￥10,000 分について品違いのため返品し、掛と相殺した。
3. 磯上商店に対する買掛金￥310,000 を小切手を振り出して支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

11 返品（売上戻り）

■ 問題 11-1 ■

1. 商品￥100,000 を売り上げ、代金は掛とした。
2. 掛で売り上げた商品に品違いがあり、￥20,000 分が返品されてきた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

12 仕入れに係る費用

■ 問題 12-1 ■

1. 商品￥80,000を掛けで仕入れ、当店が負担する運賃￥3,000を現金で支払った。
2. 商品￥50,000を掛けで仕入れた。なお、先方負担の運賃￥1,500は当店が現金で支払った。(立替金勘定を用いて処理)。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

13 売上に係る費用

■ 問題 13-1 ■

1. 商品を￥360,000で掛売りし、発送運賃￥10,000は現金で支払った。
2. 商品￥325,000を掛売りし、先方負担の発送運賃￥12,000を現金で立替払いした(立替金勘定を用いて処理)。
3. 商品￥400,000を掛売りし、先方負担の発送運賃￥15,000を現金で立替払いした(売掛金に含めて処理)。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

14

仕入れ・売上に係る費用

■ 問題 14-1 ■

1. 旭川商店から商品￥580,000 を掛けで仕入れ、引取運賃￥18,000 を現金で支払った。
2. 商品を￥720,000 で掛売りし、発送運賃￥20,000 は現金で支払った。
3. 室蘭商店から商品￥480,000 を掛けで仕入れ、先方負担の引取運賃￥15,000 を現金で立替払いした(立替金勘定を用いて処理する)。
4. 富山商店から商品￥360,000 を掛けで仕入れ、先方負担の引取運賃￥10,000 を現金で立替払いした(買掛金と相殺する)。
5. 商品￥650,000 を掛売りし、先方負担の発送運賃￥24,000 を現金で立替払いした(立替金勘定を用いて処理する)。
6. 商品￥840,000 を掛売りし、先方負担の発送運賃￥30,000 を現金で立替払いした(売掛金に含めて処理する)。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				

15 内金・手付金

■ 問題 15-1 ■

1. 三宮商店へ商品￥500,000を注文し、内金として￥100,000を現金で支払った。
2. 上記1の三宮商店から注文商品￥500,000を受け取り、代金のうち￥150,000は現金で支払い、内金を差し引いた残額は月末に支払うことにした。
3. 神戸商店から商品￥800,000の注文を受け、内金として￥300,000を現金で受け取った。
4. 上記3の商品￥800,000を引き渡し、代金は内金を差し引いた残額を月末に受け取ることにした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

■ 問題 15-2 ■

1. 商品￥300,000を尼崎商店に注文し、代金の一部￥100,000を小切手で振り出し支払った。
2. 商品￥300,000を仕入れ、代金のうち￥100,000を先に支払った分をあて、残額は掛とした。
3. 得意先梅田商店から商品￥300,000の注文を受け、代金のうち￥100,000を小切手で受け取った。
4. 得意先梅田商店へ商品￥300,000を売り上げ、代金のうち￥100,000は先に受け取った分をあて、残額は掛とした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

Chapter. 7 仕入帳・売上帳

16 仕入帳・売上帳

■ 問題 16-1 ■

- 11月 4日 三宮商店よりスーツ 30着(@¥30,000)コート 40着(@¥45,000)を掛で仕入れた。
 11月 9日 布引商店よりコート 20着(@¥28,000)スーツ 10着(@¥23,000)を掛で仕入れた。
 11月 15日 布引商店から仕入れたコート 10着(@¥28,000)を返品した。
 11月 30日 大石商店からコート 10着(@¥23,000)を仕入れ、小切手を振り出して支払った。

仕 入 帳

○1年	摘要	内訳	金額
11 4	三宮商店 掛		
9	布引商店 掛		
15	布引商店 掛け返品		
30	大石商店 小切手		
	総仕入額		
	仕入戻し高		
	純仕入高		

	借方科目	金額	貸方科目	金額
11/4				
9				
15				
30				

■ 問題 16-2 ■

次の取引にもとづいて、解答用紙の仕入帳と売上帳の記入を示し、締め切りなさい。

【取引】

3/10 神戸商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

スリッパ 700 足 @ ¥300

3/14 西宮商店に次の商品を売り上げ、代金は掛けとした。

スリッパ 500 足 @ ¥500

3/23 神戸商店より 10 日に仕入れた商品のうち一部が不良品であったため、これを返品し、代金は買掛金から差し引くこととした。

スリッパ 50 足 @ ¥300

3/27 西宮商店に 14 日に売り渡した商品のうち、一部が不良品であったため、これが返品され、代金は売掛金から差し引くこととした。

スリッパ 10 足 @ ¥500

仕 入 帳

○1年		摘要	内訳	金額
3	10	神戸商店 掛		
		スリッパ(足) (@)		()
	23	神戸商店 掛け返品		
		スリッパ(足) (@)		()
	31	()		()
		()		()
		()		()

売 上 帳

○1年		摘要	内訳	金額
3	14	西宮商店 掛		
		スリッパ(足) (@)		()
	27	西宮商店 掛け返品		
		スリッパ(足) (@)		()
	31	()		()
		()		()
		()		()

Chapter. 8 商品有高帳

17 商品有高帳

■ 問題 17-1 ■

次に示す取引を参考にして、4月中の消しゴムの商品有高帳を先入先出法で記入しなさい。

<取引>

4月 1日 前月からの消しゴムの繰越残高は@¥40 のものが 50 個ある。

8日 @¥45 の消しゴム 200 個を掛により仕入れる。

11日 @¥50 のボールペン 200 個を掛により仕入れる。

12日 消しゴム 200 個を@¥60 で、掛により販売した。

15日 ボールペン 100 個を@¥80 で、掛売りをした。

19日 @¥40 の消しゴム 200 個を掛により仕入れる。

25日 消しゴム 200 個を@¥70 で、掛により販売した。

(先入先出法)

商品有高帳

<消しゴム>

日付	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
4 1	前月繰越	50	40	2,000				50	40	2,000
8	仕 入	200	45	9,000				50	40	2,000
								200	45	9,000
12	売 上				50	()	(2,000)			
					150	()	(6,750)	50	()	(2,250)
19	仕 入	200	40	8,000				50	()	(2,250)
								200	()	(8,000)
25	売 上				50	()	(8,000)			
					150	()	(6,000)	50	()	(2,000)
30	次月繰越				50	()	(2,000)			
		450		19,000	450		19,000			
5 1	前月繰越	50	()	(2,000)				50	()	(2,000)

■ 問題 17-2 ■

次の資料にもとづいて、A)先入先出法により商品有高帳に記入し、B) 7月中の売上高、売上原価と売上総利益を計算しなさい。ただし、商品有高帳を締め切る必要はない。

7月 4日	仕入	30 個	原価	@¥3,100
7月 9日	売上	40 個	売価	@¥8,700
7月 17日	仕入	80 個	原価	@¥3,200
7月 26日	売上	40 個	売価	@¥8,900

(A)

商品有高帳

(B)

月初商品棚卸高 ￥ ()

壳 上 高 ¥ ()

当月商品仕入高 ()

壳上原価 ()

合計 ¥ ()

壳上總利益 元 ()

月末商品棚卸高 ()

壹 上 壴 儻 元 ()

■ 問題 17-3 ■

次の資料にもとづいて、A) 移動平均法により商品有高帳に記入し、B) 7 月中の売上高、売上原価と売上総利益を計算しなさい。ただし、商品有高帳を締め切る必要はない。

7月 4日	仕入	30 個	原価	@¥3,100
7月 9日	売上	40 個	売価	@¥8,700
7月 17日	仕入	80 個	原価	@¥3,200
7月 26日	売上	40 個	売価	@¥8,900

(A)

商品有高帳

(B)

月初商品棚卸高	¥ ()	売上高	¥ ()
当月商品仕入高	<u> ()</u>	売上原価	<u> ()</u>
合計	¥ ()	売上総利益	¥ ()
月末商品棚卸高	<u> ()</u>		
売上原価	¥ ()		

Chapter. 9 簿記上の現金

18 簿記上の現金

■ 問題 18-1 ■

簿記上の現金にあたるものに○をつけなさい。

1. 他人振り出しの小切手
2. 紙幣・硬貨
3. 自己振出小切手
4. 郵便為替証書

■ 問題 18-2 ■

1. 神戸商店から商品￥80,000 を仕入れ、代金は現金で支払った。
2. 瀧酒造に商品￥200,000 を売り上げ、代金として同店振出しの小切手を受け取った。
3. 磯上商店に商品￥300,000 を売り上げ、代金のうち￥150,000 は郵便為替証書で、残額は現金で受け取った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

Chapter. 10 現金出納帳

19

現金出納帳

■ 問題 19-1 ■ 以下の取引にもとづき、現金出納帳を作成しなさい。

4/10 埼玉商店より商品￥1,200 を仕入れ、代金は現金で支払った。

4/20 横浜商事への掛け代金￥2,000 を現金で回収した。

4/30 札幌商店へ商品￥1,000 を売上げ、代金は札幌商店振り出しの小切手で受け取った。

現金出納帳

×年	摘要	収入	支出	残高
4/1	前月繰越	5,000		5,000
〃	次月繰越			
5/1	前月繰越			

Chapter. 11 現金過不足

20 現金過不足

■ 問題 20-1 ■

次の一連の取引の仕訳を示しなさい。

1. 現金の実際有高が帳簿残高より¥25,000 不足していることが判明した。
2. 上記1の不足額のうち、¥8,000 は手数料の支払いの記入漏れであることが判明した。
3. 上記1の不足額のうち、¥6,000 は切手代の記入漏れであることが判明した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

■ 問題 20-2 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 現金の実際有高¥651,000 に対し、帳簿残高は¥610,000 であった。
2. 上記 1 の原因を調べたところ、手数料の受取額¥32,000 が記帳漏れとなっていた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

Chapter. 12 当座預金

21

当座預金

■ 問題 21-1 ■

1. 商品￥300,000を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
2. 商品￥150,000を売り上げ、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
3. 商品￥100,000を売り上げ、代金は当店振り出しの小切手で受けとった。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

■ 問題 21-2 ■

1. 小切手を振り出し、当座預金から現金￥100,000を引き出した。
2. 垂水商店に商品￥140,000を売り渡し、代金として同店振出しの小切手で受け取った。
3. 須磨商店に商品￥110,000を売り渡し、代金として同店振出しの小切手を受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。
4. 芦屋商店に商品￥140,000を売り渡し、代金としてかねて当店が振り出した小切手を受け取った。
5. 尼崎商店より商品￥310,000を仕入れ、代金として現金￥50,000を支払い、残額は小切手を振り出した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

22 当座預金出納帳

■ 問題 22-1 ■

以下の取引にもとづき、現金出納帳と当座預金出納帳を作成しなさい。

- 6/10 熊本商店より商品￥10,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
- 6/15 大分商事に商品￥5,000 を売上げ、￥2,000 を現金で残金は小切手で受け取った。
- 6/20 鹿児島商店に対する売掛金￥7,000 が当座預金口座に振り込まれた。
- 6/30 今月の家賃￥15,000 を現金で支払った。

現金出納帳

×年	摘要	収入	支出	残高
6/1	前月繰越	30,000		30,000
30	次月繰越			
7/1	前月繰越			

当座預金出納帳

×年	摘要	収入	支出	借/貸	残高
6/1	前月繰越	15,000		借	15,000
30	次月繰越				
7/1	前月繰越				

Chapter. 13 小口現金

23 小口現金

■ 問題 23-1 ■

1. 小口現金￥10,000 を、小切手を振り出して小口現金係に渡した。
2. 小口現金係から旅費交通費￥1,800、通信費￥2,200 の支払報告を受けた。
3. 小口現金係から水道光熱費￥1,500、雑費￥1,300 の支払報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して補給した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

■ 問題 23-2 ■

次の一連の取引の仕訳を示しなさい。

1. 7月1日 インプレストシステム(翌月補給)を採用し、小口現金係に小口現金￥50,000 を小切手を振り出して支払った。
2. 7月31日 月末となり、小口現金係から今月中の支払について次の報告を受けた。
タクシ一代 ￥5,000 電話代 ￥4,000 ガス代 ￥3,500
事務用品代 ￥6,000
3. 8月1日 月初につき、小口現金係に小切手￥18,500 を振出して支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

24 小口現金出納帳

■ 問題 24-1 ■

次の取引にもとづいて、解答用紙の小口現金出納帳に記入しなさい。

【取引】

10月 8日 新聞代 ¥6,000
 10月 15日 電話代 ¥8,000
 10月 22日 バス代 ¥3,000
 11月 1日 小口現金補給

受入	○1年		摘要	支払	内訳			
					交通費	通信費	光熱費	雑費
25,000	10	1	小口現金受入れ					
			合計					
		31	次月繰越					
	11	1	前月繰越					
		〃	本日補給					

■ 問題 24-2 ■

次の取引を仕訳しなさい。

小口現金係から次のような支払いの報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して資金の補給を行った(インプレスト・システムによる)。

交通費 ¥3,500 通信費 ¥2,100 光熱費 ¥9,000 雜費 ¥1,700

借方科目	金額	貸方科目	金額

問題 24-3

次の取引を小口現金出納帳に記入し、あわせて週末における締め切りと資金の補給に関する記入を行なさい。ただし、小口現金係は毎週土曜日の営業時間の終了後にその週の支払いを報告し、資金の補給を受けることになっている。なお、資金の補給方法はインプレスト・システムによっている。

15日(月)	郵便切手	¥600
16日(火)	紅茶・コーヒ一代	¥500
17日(水)	バス回数券	¥1,500
18日(木)	電気代	¥5,000
	はがき代	¥1,500
19日(金)	新聞代	¥1,200
	タクシ一代	¥2,000
20日(土)	ガス代	¥4,000

小口現金出納帳

Chapter. 14 約束手形

25 約束手形

■ 問題 25-1 ■

次の一連の取引について各商店の立場から仕訳しなさい。

1. 神戸商店は、大阪商店より商品￥50,000を仕入れ、代金は掛けとした。
2. 神戸商店は大阪商店に対し、買掛金の支払いのため約束手形￥50,000を振り出して支払った。
3. 上記約束手形が支払期日となり、当座預金口座から引き落とされ、大阪商店の当座預金口座に入金された。

神戸商店

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

大阪商店

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

■ 問題 25-2 ■

次の一連の取引について仕訳しなさい。

1. 雲井商店は、春日野商店から商品￥200,000 を仕入れ、代金は春日野商店宛ての約束手形を振り出して支払った。
2. 上記 1. の約束手形￥200,000 が支払期日になり、当座預金で決済された。
3. 六甲商店は篠原商店に商品￥250,000 を売り渡し、代金は篠原商店振出しの約束手形で受け取った。
4. 六甲商店は、かねて取立てを依頼していた上記 3.の約束手形￥250,000 が満期日に決済され、当座預金に代金￥250,000 が入金された旨、取引銀行から通知を受けた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

26 受取手形記入帳と支払手形記入帳

■ 問題 26-1 ■

次の帳簿の名称を()の中に記入し、あわせてこの帳簿に記録されている諸取引を仕訳しなさい。

()記入帳

○年	手形種類	手形番号	摘要	支払人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
						月	日	月	日			月	日	摘要
3	3	約 11	売上	大阪	大阪	3	3	6	3	A銀行	10,000	6	3	当座入金
4	5	約 23	売掛金	京都	京都	4	5	7	5	B銀行	20,000	7	5	当座入金

取引日	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/3				
4/5				
6/3				
7/5				

■ 問題 26-2 ■

次の帳簿の名称を()の中に記入し、あわせてこの帳簿に記録されている諸取引を仕訳しなさい。

()記入帳

○年	手形種類	手形番号	摘要	受取人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
						月	日	月	日			月	日	摘要
5	5	約 21	仕入	神戸	当社	5	5	8	5	C銀行	30,000	8	5	当座引落
7	7	約 33	買掛金	東京	当社	7	7	10	7	D銀行	40,000			

取引日	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/5				
7/7				
8/5				



PR



■ 問題 27-1 ■

秋田商事の×2年7月の取引(一部)は次のとおりである。それぞれの日付の取引が、どの補助簿に記入されるか、該当する補助簿の欄に○をつけなさい。

1. 青森商店は商品￥200,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、発送費￥4,500は小切手を振り出して支払った。
2. 青森商店から仕入れていた商品￥10,000を品違いのため返品し、掛代金から差し引くことにした。
3. 秋田商店に商品￥30,000を売り渡し代金のうち￥15,000は小切手で受け取り、残額は掛けとした。
4. 建物￥300,000を購入し、代金のうち￥100,000は現金で、残額は小切手を振り出して支払った。
5. 山形商店に対する掛代金￥100,000の支払いに同額の約束手形を振り出した。

	1	2	3	4	5
現金出納帳					
当座預金出納帳					
商品有高帳					
売掛金元帳					
買掛金元帳					
受取手形記入帳					
支払手形記入帳					
仕入帳					
売上帳					
固定資産台帳					

■ 問題 28-1 ■

次の取引について大阪商店と東京商店の仕訳をしなさい。

1. 大阪商店は、東京商店から商品￥1,000 を掛けで仕入れた。
2. 大阪商店および東京商店は、上記1の掛代金について、取引銀行を通じて電子記録債権・債務の発生記録を行った。
3. 支払期限が到来したので、上記2の電子記録債権・債務が大阪商店の当座預金口座から引き落とされ、東京商店の当座預金口座へ振り込まれた。

大阪商店	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

東京商店	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

Chapter. 15 固定資産

29

固定資産の購入

■ 問題 29-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 建物を¥900,000 で購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、登記料¥30,000 と仲介手数料¥10,000 は現金で支払った。
2. 備品を¥400,000 で購入した。購入に際して必要となった運賃¥20,000 とあわせ現金で支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

■ 問題 29-2 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 1台あたり¥150,000 の事務用パソコンを8台購入し、引取運賃¥10,000 とあわせ現金で支払った。
2. 店舗拡張のため、土地 200m²を 1m²につき¥30,000 で購入し、代金は登記料¥20,000 および仲介手数料¥45,000 とともに、小切手を振り出して支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

Chapter. 16 その他の債権・債務①

30 貸付金と借入金

■ 問題 30-1 ■

次の取引について仕訳をしなさい。

1. 兵庫商店は銀行より現金￥100,000 を借入れ、ただちに当座預金に預け入れた。
2. 兵庫商店は上記の借入金を利息￥1,000 とともに現金で返済した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

■ 問題 30-2 ■

次の取引について大阪商店と東京商店の仕訳をしなさい。

1. 大阪商店は東京商店から期間 9か月、利率年 6%で現金￥200,000 を貸し付けた。
2. 大阪商店は上記の貸付金を満期日に利息とともに東京商店振出しの小切手で返済を受けた。

大阪商店	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

東京商店	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

■ 問題 30-3 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

- 西宮商店へ￥500,000を貸し付けた。利息は年6%、貸付期間4カ月で、利息分を差し引いた残額を現金で渡した。
- 甲山商店へ現金￥600,000を貸し付けた。利息は年(365日とする)5%、貸付期間146日で、利息分を差し引いた残額を小切手を振り出して支払った。
- 銀行から￥700,000を借り入れ、利息(年(365日とする)5%、借入期間219日)を差し引かれた手取り金を当座預金に預け入れた。
- 大阪商事より￥800,000を借り入れた。利息は年6%、借入期間は5カ月で、利息分を差し引いた手取り金を小切手で受け取った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

31 手形貸付金と手形借入金**■ 問題 31-1 ■**

次の各取引について仕訳しなさい。

- 鳥取商店に現金￥10,000を貸付け、同額の約束手形を受け取った。
- 広島銀行より現金￥50,000を借入れ、同額の約束手形を振り出した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

32

未収入金と未払金

■ 問題 32-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 芦屋商店より営業用土地￥7,000,000 を買入れ、代金は月末払いとした。
2. 上記1の土地代金を、小切手を振り出して支払った。
3. 建物を￥5,000,000 で買入れ、代金は月末に支払うこととした。
4. 簿価￥1,000,000 の営業用車両を￥1,000,000 で売却し、代金は月末に受取ることとした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

■ 問題 32-2 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 先月末に営業用トラック￥3,000,000 を購入したさいに未払いとなっていた残額￥2,500,000 を、小切手を振り出して支払った。
2. 営業用の建物を￥4,000,000 で購入し、代金のうち￥400,000 を小切手を振り出して支払い、残額は翌月から毎月末に￥360,000 ずつ分割で支払うことになった。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

33

仮払金と仮受金

■ 問題 33-1 ■

1. 出張中の社員から¥200,000 の当座振込みがあったが、その内容は現在のところ不明である。
2. 出張中の従業員から送金小切手¥260,000 の送付を受けた。このうち、¥100,000 は売掛金の回収分であることが判明したが、残額の内容は不明であった。
3. 従業員の出張費用として¥100,000 を現金で概算払いしていたが、この従業員が出張先から戻り、新幹線の切符代¥55,000 と宿泊料¥35,000 を差し引いた残額を現金で受け取った。
4. 出張中の従業員から当座預金口座へ振り込まれ、仮受金として処理していた¥120,000 は、得意先福島商店から受け取った商品売渡しに係る手付金であることが判明した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				

■ 問題 33-2 ■

1. 従業員の出張にあたり、旅費や通信費などの概算額¥100,000 を現金で渡した。
2. 従業員が帰店し、旅費¥60,000、通信費¥20,000 を精算し残額を現金で受け取った。
3. 出張中の従業員より当座預金口座に¥20,000 が振り込まれていたがその内容は不明である。
4. 従業員が帰店し、上記の入金は得意先からの売掛金の回収分であることが判明した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				

34

立替金と預り金

■ 問題 34-1 ■

1. 従業員が私用のために購入したパソコンの代金￥50,000を、現金で立て替えて支払った。
2. 従業員に給料総額￥250,000を支給のさいに、従業員への立替分￥50,000と源泉所得税￥16,000を差し引いた手取金を現金で支払った。
3. 従業員より徴収した所得税￥154,000を税務署に現金で納付した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

■ 問題 34-2 ■

1. 給料￥200,000の支払いに際し、所得税￥18,000を差し引き、残額を現金で渡した。
2. 給料￥200,000の支払いに際し、所得税￥20,000と健康保険料￥10,000を差し引き、残額を当座預金口座から従業員の普通預金口座に振り込んだ。
3. 従業員の飲食代￥20,000を現金で立て替え払いした。
4. 給料￥100,000の支払いに際し、立て替え払いの分￥20,000を差し引き、残額を現金で渡した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

Chapter. 17 その他の債権・債務②

35 受取商品券

■ 問題 35-1 ■

1. 商品¥10,000を売上げ、代金は自治体発行の商品券で受け取った。
2. 商品¥20,000を売上げ、代金のうち半分を商工会議所発行の商品券で残りは現金で受け取った。
3. 上記1の商品券の換金請求を行い、¥10,000が当座預金に振り込まれた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				

36 差入保証金・租税公課

■ 問題 36-1 ■

1. 事務所を借りる契約を結び、敷金¥30,000を現金で支払った。
2. 収入印紙¥12,000を現金で購入した。
3. 営業用車両の自動車税¥10,000を現金で納付した。
4. 店舗の固定資産税¥30,000を、小切手を振り出して納付した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				

37 株式の発行

■ 問題 37-1 ■

1. 株式500株を1株あたり¥100で発行し、全株式の払い込みをうけ、払込金額は当座預金とした。
2. 株式1,000株を1株あたり¥200で発行し、全株式の払い込みをうけ、全額を資本金とするとともに、払込金額は当座預金とした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

38 消費税

■ 問題 38-1 ■

次の取引を仕訳しなさい。なお消費税は税抜き方式で処理し、10%で計算すること。

1. 商品¥110,000(税込み)を仕入れ、代金は掛けとした。
2. 商品¥19,800(税込み)を売上げ、代金は掛けとした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

39

訂正仕訳

■ 問題 39-1 ■

1. 商品￥1,000 を掛けで販売したが、誤って借方を現金と仕訳していた。
2. 土地￥10,000 を購入し、代金は翌月末払いとしていたが、誤って以下の仕訳をしていた。

土地 10,000 買掛金 10,000

3. 商品￥5,000 を売上げ、代金は掛けとしていたが、貸借逆に仕訳していた。
4. 売掛金￥1,000 を現金で回収した際に、誤って売上に計上していた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

■ 問題 39-2 ■

1. 商品￥1,000 を仕入れ、約束手形を振り出したが、金額を￥100 として仕訳をしていた。
2. 商品￥20,000 を売却し代金が当座預金に振り込まれたが、誤って以下の仕訳をしていた。。

普通預金 20,000 売上 20,000

3. 商品￥5,000 を売上げ、同額の約束手形を受け取っていたが、貸借逆に仕訳していた。
4. 家賃￥30,000 を支払い、代金は小切手を振り出して支払ったが、貸方を現金で仕訳していた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

Chapter. 18 試算表

40 試算表

■ 問題 40-1 ■
以下の勘定記録から、合計残高試算表を作成しなさい。

現金		普通預金	
5,000	2,000	35,000	3,000
8,000	500		1,500
3,000			800
売掛金		繰越商品	
12,000	8,000	15,000	
買掛金		資本金	
2,000	4,000		50,000
1,000			
繰越利益剰余金		売上	
	12,000		5,000
仕入		水道光熱費	
6,000	1,000	800	

合計残高試算表

借 方		勘定科目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
		現 金		
		普 通 預 金		
		売 掛 金		
		繰 越 商 品		
		買 掛 金		
		資 本 金		
		繰 越 利 益 剰 余 金		
		売 上		
		仕 入		
		水 道 光 熱 費		

■ 問題 40-2 ■

以下の資料にもとづいて、答案用紙の×2 年 7 月 31 日の合計残高試算表と、売掛金および買掛金の明細表を作成しなさい。

[資料 I] ×2 年 6 月 30 日現在の合計試算表

借 方	勘定科目	貸 方
40,000	現 金	7,000
30,000	当 座 預 金	17,000
20,000	受 取 手 形	5,000
10,000	電 子 記 録 債 権	3,000
36,000	売 掛 金	22,000
15,000	前 払 金	10,000
47,000	繰 越 商 品	
3,000	備 品	
	支 払 手 形	33,000
	電 子 記 録 債 務	25,000
2,000	買 掛 金	30,000
	未 払 金	3,000
	所 得 税 預 り 金	4,000
	資 本 金	70,000
	繰越利益剰余金	5,000
	売 上	65,000
	受 取 利 息	1,000
45,000	仕 入	
40,000	給 料 料	
2,000	通 信 費	
6,000	租 稅 公 課	
4,000	発 送 費	
300,000		300,000

[資料 II] 7 月中の取引

- 2 日 東京商店へ商品￥5,000 を掛けで売り上げた。
- 5 日 先月購入した備品￥3,000 の代金を現金で支払った。
- 10 日 収入印紙￥3,000 と切手￥2,000 を現金で購入した。
- 15 日 電子債権記録機関に記録した債権￥5,000 の支払期日が到来し、当座預金に振り込まれた。
- 20 日 神田商店に対する、売掛金￥5,000 の回収として、小切手を受け取った。
- 22 日 橋本商店より先月掛けで仕入れていた商品に品違いがあったため、商品￥3,000 を返品し、掛代金から差し引いた。
- 25 日 盛岡商店に対する、買掛金￥10,000 について、約束手形を振り出して支払った。
- 27 日 埼玉商店から商品￥7,000 を仕入れ、代金のうち￥5,000 はあらかじめ支払っていた手付金を充当し、残額は掛けとした。
- 30 日 給料総額￥10,000 のうち、源泉所得税￥1,000 を差し引いた残額を現金で支払った。

合計残高試算表

借 方		勘定科目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		電 子 記 錄 債 権		
		売 掛 金		
		前 払 金		
		繰 越 商 品		
		備 品		
		支 払 手 形		
		電 子 記 錄 債 務		
		買 掛 金		
		未 払 金		
		所 得 税 預 り 金		
		資 本 金		
		繰 越 利 益 剰 余 金		
		売 上		
		受 取 利 息		
		仕 入		
		給 料		
		通 信 費		
		租 稅 公 課		
		発 送 費		

売掛金明細

6月30日 7月31日神田商店
東京商店
兵庫商店

買掛金明細

6月30日 7月31日盛岡商店
橋本商店
埼玉商店

■ 問題 40-3 ■

以下の資料にもとづいて、答案用紙の×3年5月31日の残高試算表を作成しなさい。

[資料I] ×3年4月30日現在の残高試算表

借 方	勘定科目	貸 方
16,000	現 金	
1,000	現 金 過 不 足	
22,000	当 座 預 金	
20,000	普 通 預 金	
10,000	受 取 手 形	
800	受 取 商 品 券	
13,000	売 掛 金	
2,000	クレジット売掛金	
10,000	仮 払 金	
30,000	車 両	
	支 払 手 形	10,000
	買 掛 金	20,000
	未 払 法 人 税 等	6,000
	資 本 金	10,000
	繰越利益剰余金	9,000
	売 上	80,000
	受 取 地 代	10,000
55,000	仕 入	
8,000	租 稅 公 課	
200	通 信 費	
5,000	支 払 手 数 料	
12,000	旅 費 交 通 費	
145,000		145,000

[資料II] 5月中の取引

- 1 日 先々月の掛代金￥3,000 が当座預金口座に振り込まれた。
- 3 日 商品￥10,000 を仕入れ、運賃￥500とともに、現金で支払った。
- 7 日 売掛金￥5,000 の回収として、当店あての約束手形で受け取った。
- 11 日 現金過不足につき、その原因を調査していたが、切手の購入代金￥500 の記帳漏れが判明した。
- 16 日 営業用車両にかかる自動車税￥6,000 を小切手を振り出して支払った。
- 21 日 商品￥5,000 を販売し、代金のうち￥3,000 は自治体発行の商品券で受け取り、残額はかつて当店が振り出した小切手で受け取った。
- 23 日 従業員が出張から帰り、旅費の精算を行い、概算払額￥10,000 の残額￥2,000 を現金で受け取った。
- 26 日 店舗の賃借にあたり、敷金￥10,000 と今月の家賃￥5,000 を当社の普通預金口座から不動産業者の当座預金口座へ振り込んだ。
- 30 日 商品￥7,000 をクレジット払いの条件で販売した。手数料 5% は販売時に計上する。

残高試算表

借 方			勘定科目	貸 方		
月末残高	期中取引	月初残高		月初残高	期中取引	月末残高
		16,000	現 金			
		1,000	現 金 過 不 足			
		12,000	当 座 預 金			
		20,000	普 通 預 金			
		3,000	受 取 手 形			
		800	受 取 商 品 券			
		10,000	売 掛 金			
		2,000	クレジット売掛金			
		10,000	仮 払 金			
		20,000	車 両			
		()				
			支 払 手 形	10,000		
			買 掛 金	20,000		
			未 払 法 人 税 等	6,000		
			貸 倒 引 当 金	2,000		
			減 價 償 却 累 計 額	3,000		
			資 本 金	10,000		
			繰 越 利 益 剰 余 金	9,000		
			売 上	75,000		
			受 取 地 代	10,000		
		35,000	仕 入			
		8,000	租 稅 公 課			
		200	通 信 費			
		5,000	支 払 手 數 料			
			支 払 家 賃			
		2,000	旅 費 交 通 費			
		145,000		145,000		

■ 問題 40-4 ■

答案用紙に記載されている月初繰越高と、下記(資料)12月における月中取引にもとづいて、12月末における合計試算表を作成しなさい。

(資料)12月における月中取引

1. 商品の売上高

(1)掛けによる売上高	31,000 円
(このうちの戻り高)	400 円)
(2)約束手形受入れによる売上高	22,500 円

2. 商品の仕入高

(1)掛けによる仕入高	21,600 円
(このうちの戻し高)	800 円)
(2)約束手形振出しによる仕入高	17,000 円

3. 現金の増減取引

(1)利息の受取り	500 円
(2)給料の支払い	3,800 円
(3)通信費の支払い	600 円
(4)家賃の支払い	900 円
(5)手付金の受取り	5,200 円

4. 当座預金の増減取引

(1)売掛金の回収	30,800 円
(2)買掛金の支払い	20,000 円
(3)手形代金の取立て	16,100 円
(4)手形代金の支払い	16,600 円
(5)借入金の支払い(利息 200 円を含む)	10,200 円

5. その他の取引

(1)得意先の倒産による売掛金の貸倒高	600 円
---------------------	-------

合計試算表

○年12月31日

借 方		勘定科目	貸 方	
合 計	月初繰越高		月初繰越高	合 計
	46,900	現 金	38,300	
	112,700	当 座 預 金	72,400	
	59,700	受 取 手 形	33,300	
	70,600	売 掛 金	45,300	
	18,200	繰 越 商 品		
	24,000	備 品	8,100	
	34,600	支 払 手 形	51,400	
	28,900	買 掛 金	49,400	
	10,000	借 入 金	33,500	
	()			
		貸 倒 引 当 金	1,100	
		資 本 金	60,000	
		売 上	98,600	
		受 取 利 息	200	
	65,200	仕 入		
	13,600	給 料		
	2,500	通 信 費		
	3,900	支 払 家 賃		
	800	支 払 利 息		
	491,600		503,100	

■ 問題 40-5 ■

下記の6月における期中取引を加えて、解答欄の6月末の残高試算表を完成しなさい。

6月の取引：

1. 現金の増減

a 現金売上高	¥320,000
b 現金仕入高	¥144,000
c 当座預金の引出高	¥ 30,000
d 当座預金の預入高	¥108,000
e 売掛金の回収高	¥180,000
f 買掛金の支払高	¥ 70,000
g 家賃の支払高	¥180,000
h 給料の支払高	¥238,000
i 通信費の支払高	¥ 26,000

2.当座預金の増減

a 現金の預入高	¥108,000
b 現金の引出高	¥ 30,000
c 手形代金の取立高	¥432,000
d 手形代金の支払高	¥392,000
e 売掛金の回収高	¥264,000
f 買掛金の支払高	¥240,000
g 小切手の振り出しによる仕入高	¥ 75,000

3. 商品の仕入高

a 現金による仕入高	¥144,000
b 小切手の振出しによる仕入高	¥ 75,000
c 掛による仕入高	¥368,000
このうち戻し高	¥ 30,000
d 約束手形の振出しによる仕入高	¥182,000

4. 商品の売上高

a 現金による売上高	¥320,000
b 掛による売上高	¥420,000
このうち返品高	¥ 15,000
c 約束手形の受入による売上高	¥273,000

5. その他の取引

a 手形受取による売掛金の回収	¥ 56,000
b 買掛金支払のための手形振出	¥ 60,000

残高試算表

借 方		勘定科目	貸 方	
残高	月初繰越高		月初繰越高	残高
	1,087,000	現 金	758,000	
	1,360,000	当 座 預 金	1,123,000	
	1,280,000	受 取 手 形	878,000	
	1,400,000	売 掛 金	1,132,000	
	484,000	繰 越 商 品		
	1,000,000	備 品		
	675,000	貸 付 金		
	340,000	支 払 手 形	1,050,000	
	750,000	買 掛 金	1,500,000	
		資 本 金	1,500,000	
		繰越利益剩余额	1,500,000	
		売 上	2,367,000	
		受 取 利 息	192,000	
	2,400,000	仕 入		
	516,000	給 料		
	430,000	支 払 家 費		
	126,000	通 信 費		
	80,000	消 耗 品 費		
	72,000	支 払 利 息		
	12,000,000		12,000,000	

Chapter. 19 決算

41 決算

■ 問題 41-1 ■ 次の精算表を完成させなさい。

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	64,000		2,000					
現 金 過 不 足		5,000	5,000					
当 座 預 金	26,000							
受 取 手 形	20,000							
売 掛 金	10,000							
仮 払 金	5,000				5,000			
繰 越 商 品	6,000		8,000	6,000				
建 物	40,000							
支 払 手 形		8,000						
買 掛 金		7,000						
貸 倒 引 当 金		4,000		2,000				
減 億 償 却 累 計 額		8,000		1,000				
資 本 金		50,000						
繰 越 利 益 剰 余 金		70,000						
売 上		200,000						
受 取 家 貸		10,000	1,000					
仕 入	80,000		6,000	8,000				
旅 費 交 通 費	13,000		3,000					
通 信 費	15,000			2,000				
保 險 料	33,000			3,000				
給 料	50,000		2,000					
	362,000	362,000						
雜 益				5,000				
貯 藏 品			2,000					
貸 倒 引 当 金 繰 入			2,000					
減 億 償 却 費			1,000					
未 払 給 料				2,000				
前 払 保 險 料			3,000					
前 受 家 貸				1,000				
當 期 純 利 益								
			35,000	35,000				

■ 問題 41-2 ■

次の精算表を完成させなさい。

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	68,000			5,000				
当 座 預 金		4,000	4,000					
受 取 手 形	20,000							
売 掛 金	10,000			4,000				
仮 払 消 費 税	8,000			8,000				
繰 越 商 品	12,000		10,000	12,000				
建 物	40,000							
備 品	20,000		5,000					
支 払 手 形		20,000						
買 掛 金		9,000						
仮 受 金		4,000	4,000					
仮 受 消 費 税		13,000	13,000					
貸 倒 引 当 金		6,000		3,000				
建物減価償却累計額		12,000		800				
備品減価償却累計額		8,000		700				
資 本 金		50,000						
繰 越 利 益 剰 余 金		30,000						
売 上		170,000						
仕 入	50,000		12,000	10,000				
租 稅 公 課	15,000			3,000				
保 険 料	33,000		5,000					
給 料	50,000			3,000				
	326,000	326,000						
当 座 借 越				4,000				
貯 藏 品			3,000					
貸 倒 引 当 金 繰 入			3,000					
減 価 償 却 費			1,500					
前 払 給 料			3,000					
未 払 保 険 料				5,000				
未 払 消 費 税				5,000				
当 期 純 利 益								
			63,500	63,500				

Chapter. 20 決算整理仕訳

42 現金過不足の処理

■ 問題 42-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

現金過不足￥10,000 は通信費の記帳漏れと判明した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	90,000							
現金過不足	10,000							
通信費	15,000							

■ 問題 42-2 ■

決算となり、現金過不足￥15,200(貸方残高)の原因が判明しなかつたため、これを適当な科目に振り替えた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

■ 問題 42-3 ■

現金の実際有高が帳簿残高より￥32,000 不足していたので、かねて現金過不足勘定で処理しておいたが、決算においてその原因を調べたところ、交通費の支払額￥7,000、通信費の支払額￥18,000 および手数料の受取額￥6,000 が記入漏れであることが判明した。なお、残額は原因不明のため、これを適当な科目に振り替えた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

43

当座借越への振り替え

■ 問題 43-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、当座預金の貸方残高¥1,000を当座借越に振り替える。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
当座預金		1,000						
当座借越								

■ 問題 43-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、当座預金の貸方残高¥1,000を借入金に振り替える。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
当座預金		1,000						
借入金		30,000						

44 貯蔵品の処理

■ 問題 44-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、切手の未使用高は、¥5,000 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
通信費	12,000							
貯蔵品								

■ 問題 44-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、収入印紙の未使用高は、¥5,600 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
租税公課	15,000							
貯蔵品								

45

貸倒引当金の設定

■ 問題 45-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 当期末の受取手形残高¥10,000、売掛金残高¥8,000 に対して2%の貸倒れを見積もる、なお貸倒引当金の残高は¥200 である。
2. 当期末の受取手形残高¥10,000、売掛金残高は¥5,000 に対して2%の貸倒れを見積もる、なお貸倒引当金の残高は¥100 である。

	借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
1				
2				

■ 問題 45-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算となり、受取手形と売掛金の期末残高に対して、3%の貸倒れを見積もる。差額補充法による。

借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領

勘定科目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
売 掛 金	80,000							
受 取 手 形	50,000							
貸 倒 引 当 金		2,000						
貸 倒 引 当 金 ()								

46 固定資産の減価償却

■ 問題 46-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 決算(×3年3月31日)につき、取得原価¥100,000 残存価額0 耐用年数5年の備品について減価償却を行う。
2. 決算(×3年3月31日)につき、取得原価¥100,000 残存価額10%耐用年数5年の備品について減価償却を行う。
3. 決算(×3年3月31日)につき、取得原価¥48,000 残存価額0 耐用年数4年の備品について減価償却を行う。ただし、この備品は当期の12月1日に取得したものであり、減価償却費の計上は月割で行うこと。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

■ 問題 46-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、備品の減価償却費を計上した。

備品の取得原価は¥20,000、残存価格0、耐用年数10年の定額法で償却する。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

勘定科目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
備 品	20,000							
備品減価償却累計額			4,000					
減 価 償 却 費								

■ 問題 46-3 ■

次の資料にもとづいて、取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

建 物 4,200,000 円 期首建物減価償却累計額 2,268,000 円

備 品 960,000 円 期首備品減価償却累計額 405,000 円

(決算日:3月 31 日)

- 建物および備品について定額法によって減価償却を行う。ただし、残存価額は建物、備品ともに取得原価の10%、耐用年数は建物については45年、備品については8年とする。
なお、備品のうち240,000円は当期9月1日に取得したものである。新備品の減価償却は耐用年数8年、残存価額は0として行うものとし、月割算によること。

	借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
1				

勘定科目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
建 物	4,200,000							
備 品	960,000							
建物減価償却累計額		2,268,000						
備品減価償却累計額		405,000						
減価償却費								

47 固定資産の売却

■ 問題 47-1 ■

1. 営業用建物を売却し、代金¥250,000を現金で受取った。
(取得原価¥300,000、減価償却累計額¥100,000)
2. 営業用の自動車を売却し、代金¥100,000を小切手で受取った。
(取得原価¥500,000、減価償却累計額¥300,000)
3. ×5年4月1日に営業用の備品(取得原価:×3年4月1日、取得原価:¥100,000、残存価額:取得原価の10%、耐用年数:5年)を¥70,000で売却し、代金は月末に受けとる。なお、決算日は年1回3月31日である。

	借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
1				
2				
3				

■ 問題 47-2 ■

1. ×5年4月1日に営業用の備品(取得原価:×3年4月1日、取得原価:¥100,000、残存価額:取得原価の10%、耐用年数:5年、減価償却方法:定額法、記帳方法:間接法)を¥70,000で売却し、代金は月末に受けとる。なお、決算日は年1回3月31日である。
2. ○6年3月31日に、不用となった冷暖房機(購入日:○2年1月1日、取得原価:¥300,000、耐用年数:6年、残存価額:取得原価の10%、決算日:年1回3月31日)を¥125,000で売却し、代金は先方振出しの小切手で受け取った。なお、当期分の減価償却費の計上もあわせて記入すること。

	借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
1				
2				

48

売上原価の算定（仕入勘定）

■ 問題 48-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算につき、仕入勘定で売上原価を計算する。期末商品棚卸高￥4,000 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰 越 商 品	5,000							
仕 入	30,000							

■ 問題 48-2 ■

次の資料にもとづいて、決算整理仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

・期末の決算整理前の勘定残高

繰越商品 ￥52,000 仕 入 ￥358,000

・期末商品棚卸高 ￥60,000

・売上原価の計算は仕入勘定で行う。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰 越 商 品	52,000							
仕 入	358,000							

49 売上原価の算定（売上原価勘定）

■ 問題 49-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算につき、売上原価勘定で売上原価を計算する。期末商品棚卸高￥4,000 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	5,000							
仕入	30,000							
売上原価								

■ 問題 49-2 ■

次の資料にもとづいて、決算整理仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

- ・期末の決算整理前の勘定残高

繰越商品 ￥52,000 仕入 ￥358,000

- ・期末商品棚卸高 ￥60,000

- ・売上原価の計算は売上原価勘定で行う。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	52,000							
仕入	358,000							
売上原価								

50 消費税の処理

■ 問題 50-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算につき、消費税の納付額を計上する。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
仮 払 消 費 税	1,500							
仮 受 消 費 税		2,200						
未 払 消 費 税								

51 費用と収益の前払と前受け

■ 問題 51-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

支払家賃は9/1に支払った1年分である。決算日 3/31

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
支 払 家 賃	18,000							
前 払 家 賃								

■ 問題 51-2 ■

当期中の9月1日に1年分の損害保険料￥2,400(@200×12カ月)を現金で支払っており、決算における修正仕訳を行う。(決算:年1回、3月31日)

借方科目	金額	貸方科目	金額

■ 問題 51-3 ■

12月1日に￥500,000を返済期限1年で、1年分の利息￥15,000を差引き、差額を現金で貸し付けた。決算の処理を行う。(決算:年1回、3月31日)

借方科目	金額	貸方科目	金額

52 費用と収益の未払い・未収

■ 問題 52-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。
貸付金の利息￥8,000を見越し計上した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取利息		12,000		8,000		20,000		
未収利息			8,000				8,000	

■ 問題 52-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

当期の9月1日に銀行より¥300,000を借入れている。この借入金は返済期限1年、利率年2.4%である。9月1日から3月31日までの利息に関する修正仕訳を行う。(決算:年1回、3月31日)

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
借入金		300,000						
支払利息								
未払利息								

■ 問題 52-3 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

取引先に当期中の7月1日に¥300,000を年利率3.6%、返済期限1年で貸付けた。利息は、貸付金返済時に一括決済としている。(決算:年1回、3月31日)

借方科目	金額	貸方科目	金額

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
貸付金	300,000							
受取利息								
未収利息								

53 法人税の計上

■ 問題 53-1 ■

1. 法人税の中間納付を行い、¥30,000 を普通預金口座から納付した。
2. 決算の結果、当期の法人税等が¥50,000 と確定した。
3. 上記2の未払法人税等を普通預金口座から支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

■ 問題 53-2 ■

決算の結果、当期の法人税等が¥120,000 と確定した。なお、中間納付額¥50,000 は仮払金で処理している。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

54

精算表の作成

■ 問題 54-1 ■

次の決算整理事項に基づいて精算表を完成させなさい。

＜決算整理事項＞

1. 期末商品棚卸高 ¥7,000 売上原価は「仕入」の行で計算する。
2. 貸倒引当金は、売掛金と受取手形の合計額の3%を見積もる。
3. 建物について定額法により減価償却費を計上する。耐用年数5年、残存価額は0である。

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	18,000							
当 座 預 金	28,000							
売 掛 金	20,000							
受 取 手 形	10,000							
繰 越 商 品	6,000							
建 物	40,000							
買 掛 金		5,000						
支 払 手 形		7,000						
貸 倒 引 当 金		400						
減 価 償 却 累 計 額		8,000						
資 本 金		60,000						
繰 越 利 益 剰 余 金		29,600						
売 上		51,000						
仕 入	29,000							
保 険 料	8,000							
給 料	2,000							
	161,00	161,00						
貸 倒 引 当 金 繰 入								
減 価 償 却 費								
当 期 純 利 益								

■ 問題 54-2 ■

次の決算整理事項に基づいて精算表を完成させなさい。

<決算整理事項>

1. 現金過不足のうち 600 円は、売掛金の回収分であった。
なお、残りは原因不明のため適切に処理する。
2. 期末商品棚卸高は¥3,000 である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
3. 貸倒引当金は、売掛金と受取手形の合計額の 3%を見積もる。
4. 建物について定額法により減価償却費を計上する。
耐用年数 10 年、残存価額は取得原価の 10% である。
5. 給料の未払分が¥1,000 ある。

精 算 表

勘定科目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	20,000							
現 金 過 不 足		1,000						
当 座 預 金	70,000							
売 掛 金	15,000							
受 取 手 形	5,000							
繰 越 商 品	4,000							
建 物	50,000							
買 掛 金		7,600						
支 払 手 形		8,000						
貸 倒 引 当 金		400						
減 価 償 却 累 計 額		25,000						
資 本 金		60,000						
繰 越 利 益 剰 余 金		36,000						
売 上		63,600						
仕 入	35,000							
給 料	2,000							
保 険 料	600							
	201,600	201,600						
雜 益								
貸 倒 引 当 金 繰 入								
減 価 償 却 費								
(未 払) 給 料								
當 期 純 (利 益)								

■ 問題 54-3 ■

次の決算修正事項にもとづいて解答欄の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は○1年4月1日から○2年3月31日までの1年である。

〈決算修正事項〉

1. 現金の実際手許有高は¥11,000 である。
2. 当座預金の貸方残高を当座借越に振り替える。
3. 売上債権の期末残高に対し実績率法により 3% の貸倒れを見積る。なお、貸倒引当金の設定は差額補充法による。
4. 期末商品棚卸高は¥28,000 である。売上原価は「仕入」の行で計算すること。
5. 切手の期末未消費高が¥1,200 ある。
6. 建物および備品について定額法により減価償却を行う。ただし、残存価額は建物・備品ともに取得原価の 10%，耐用年数は建物については 30 年、備品については 9 年とする。
7. 支払保険料は 1 年分で、保険契約後決算日までの経過期間は 7 カ月である。
8. 借入金は○1年10月1日に借入期間1年、利率年 8.25% で借り入れたものであり、利息は元金の返済時に支払うことになっている。利息は月割計算による。

精算表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	10,400							
当 座 預 金		10,000						
売 掛 金	33,000							
受 取 手 形	57,000							
繰 越 商 品	22,500							
建 物	60,000							
備 品	15,000							
支 払 手 形		24,600						
買 掛 金		22,900						
借 入 金		20,000						
貸 倒 引 当 金		1,700						
建物減価償却累計額		10,600						
備品減価償却累計額		6,000						
資 本 金		40,000						
繰 越 利 益 剰 余 金		32,100						
売 上		157,200						
仕 入	79,500							
給 料	31,200							
通 信 費	12,000							
支 払 保 険 料	3,600							
支 払 利 息	900							
	325,100	325,100						
雜 (益)								
当 座 借 越								
貸 倒 引 当 金 繰 入								
(貯 藏 品)								
減 価 償 却 費								
(前 払) 保 険 料								
(未 払) 利 息								
当 期 純 (利 益)								

■ 問題 54-4 ■

次の決算修正事項にもとづいて解答欄の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は○1年4月1日から○2年3月31日までの1年である。

〈決算修正事項〉

1. 現金の実際有高は¥15,000 であった。帳簿残額との差額のうち¥2,100 は通信費の記帳漏れであることが判明したが、残高は不明のため、雑損または雑益に振り替える。
2. 売掛代金の当座預金口座への入金¥5,300 の取引が、誤って借方・貸方ともに¥3,500 と記帳されていたのでその修正を行った。
3. 当月の水道光熱費¥500 が当座預金口座から引き落とされていたが、未処理であった。
4. 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
5. 期末商品棚卸高は¥18,000 である。
6. 備品について、残存価額をゼロ、耐用年数を8年とする定額法により減価償却を行う。
7. 消費税の処理(税抜方式)を行う。
8. 借入金は○1年6月1日に借入期間1年、利率年6%で借り入れたもので、利息は11月末日と返済日に6か月分をそれぞれ支払うことになっている。利息の計算は月割による。
9. 支払家賃のうち¥12,000 は○1年11月1日に向こう6か月分を支払ったものである。そこで、前払分を月割りにより計上する。

精算表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	18,000							
当 座 預 金	57,000							
売 掛 金	49,000							
繰 越 商 品	20,000							
仮 払 消 費 税	20,000							
備 品	120,000							
土 地	270,000							
買 掛 金		66,200						
借 入 金		40,000						
仮 受 消 費 税		45,000						
貸 倒 引 当 金		500						
減 価 償 却 累 計 額		30,000						
資 本 金		200,000						
繰 越 利 益 剰 余 金		145,500						
売 上		450,000						
仕 入	200,000							
給 料	180,000							
支 払 家 賃	30,000							
水 道 光 熱 費	4,000							
通 信 費	6,000							
保 険 料	2,000							
支 払 利 息	1,200							
	977,200	977,200						
雜 (損)								
貸 倒 引 当 金 繰 入								
減 価 償 却 費								
(未 払) 消 費								
(未 払) 利 息								
(前 払) 家 賃								
當 期 純 (利 益)								

Chapter. 21 財務諸表の作成

55 財務諸表の作成

■ 問題 55-1 ■

以下の決算整理後残高試算表にもとづいて、解答用紙の損益計算書と貸借対照表を完成させなさい。

決算整理後残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
240,000	現金	
330,000	当座預金	
210,000	売掛金	
180,000	繰越商品	
3,000	貯蔵品	
700	前払家賃	
200,000	備品	
	買掛金	180,000
	借入金	50,000
	貸倒引当金	6,300
	備品減価償却累計額	100,000
	資本金	100,000
	繰越利益剰余金	90,700
	売上	860,000
	受取手数料	150,000
340,000	仕入	
7,000	租税公課	
12,000	支払家賃	
1,000	雑損	
3,300	貸倒引当金繰入	
10,000	減価償却費	
1,537,000		1,537,000

損益計算書

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	()	売 上 高	()
租 稅 公 課	()	受 取 手 数 料	()
支 払 家 貸	()		
雜 損	()		
貸 倒 引 当 金 繰 入	()		
減 價 償 却 費	()		
當 期 純 利 益	()		
	()		()

貸借対照表

資 產	金 額	負 債・純資 產	金 額
現 金	()	買 掛 金	()
当 座 預 金	()	借 入 金	()
売 掛 金	()	資 本 金	()
貸 倒 引 当 金	() ()	繰 越 利 益 剰 余 金	()
前 払 家 貸	()	當 期 純 利 益	()
商 品	()		
貯 藏 品	()		
備 品	()		
減 價 償 却 累 計 額	() ()		
	()		()

■ 問題 55-2 ■

以下の決算整理後残高試算表にもとづいて、解答用紙の損益計算書と貸借対照表を完成させなさい。

決算整理後残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
120,000	現金	
80,000	普通預金	
110,000	売掛金	
70,000	繰越商品	
3,000	前払保険料	
150,000	建物	
200,000	備品	
	支払手形	180,000
	未払給料	50,000
	貸倒引当金	7,000
	建物減価償却累計額	100,000
	備品減価償却累計額	120,000
	資本金	100,000
	繰越利益剰余金	100,000
	売上	500,000
	受取手数料	70,000
220,000	仕入	
9,000	貸倒引当金繰入	
20,000	減価償却費	
240,000	給料	
5,000	保険料	
1,227,000		1,227,000

損益計算書

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 價	()	売 上 高	()
給 料	()	受取手数料	()
保 険 料	()		
貸倒引当金(繰入)	()		
()	()		
当 期 純 利 益	()		
	()		()

貸借対照表

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	()	支 払 手 形	()
普 通 預 金	()	() 費 用	()
売 掛 金	()	資 本 金	()
()	() ()	()	()
商 品	()	当 期 純 利 益	()
() 費 用	()		
建 物	()		
()	() ()		
備 品	()		
()	() ()		()
	()		

■ 問題 55-3 ■

次の決算整理前残高試算表および期末整理事項にもとづいて、答案用紙の損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。ただし、会計期間はX5年4月1日からX6年3月31日までの1年である。

決算整理前残高試算表

X6年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
284,000	現 金	
375,000	当 座 預 金	
485,000	受 取 手 形	
515,000	売 掛 金	
193,000	繰 越 商 品	
200,000	貸 付 金	
400,000	備 品	
	支 払 手 形	283,000
	買 掛 金	202,000
	借 入 金	150,000
	貸 倒 引 当 金	14,000
	減 価 償 却 累 計 額	144,000
	資 本 金	900,000
	繰 越 利 益 剰 余 金	300,000
	売 上	2,762,000
	受 取 利 息	8,000
1,811,000	仕 入	
404,000	給 料	
90,000	支 払 地 代	
6,000	支 払 利 息	
4,763,000		4,763,000

(期末整理事項)

- 現金の実際手元有高は¥310,000であった。理由は不明のため適切に処理する。
- 期末商品棚卸高は¥180,000である。
- 受取手形および売掛金の期末残高に対して差額補充法により3%の貸倒れを設定する。
- 備品について定額法により減価償却を行う。なお、備品の耐用年数は10年で、残存価額は取得原価の10%である。
- 支払地代は毎年7月1日に向こう1年分を支払っている。本年度も昨年度と同額を支払っている。
- 貸付金はX5年8月1日に貸付期間1年間、利率年6%で貸し付けたものであるが、利息は返済期日に元金とともに一括して受け取ることにしている。利息の計算は月割りによる。
- 支払利息の未払分が¥3,000ある。

損益計算書

費用	金額	収益	金額
()	()	売上高	()
給料	()	受取利息	()
支払地代	()	()	()
貸倒引当金繰入	()		
減価償却費	()		
支払利息	()		
()	()		
	()		()

貸借対照表

資産の部		負債・純資産の部	
現金		()	支払手形 ()
当座預金		()	買掛金 ()
受取手形	()		借入金 ()
売掛金	()		() 費用 ()
貸倒引当金	()	()	資本金 ()
商品		()	繰越利益剰余金 ()
貸付金		()	() ()
() 費用		()	
() 収益		()	
備品	()		
減価償却累計額	()	()	
		()	()

■ 問題 55-4 ■

次の決算整理前残高試算表および期末整理事項にもとづいて、答案用紙の損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。ただし、会計期間はX5年4月1日からX6年3月31日までの1年である。

決算整理前残高試算表

X6年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
135,000	現 金	
3,000	現 金 過 不 足	
163,000	普 通 預 金	
	当 座 預 金	46,000
120,000	売 掛 金	
30,000	仮 払 金	
69,000	繰 越 商 品	
360,000	建 物	
50,000	備 品	
440,000	土 地	
	買 掛 金	74,500
	借 入 金	320,000
	貸 倒 引 当 金	1,500
	建物減価償却累計額	118,000
	備品減価償却累計額	30,000
	資 本 金	400,000
	繰 越 利 益 剰 余 金	285,800
	売 上	867,000
530,000	仕 入	
180,000	給 料	
26,800	通 信 費	
10,000	旅 費 交 通 費	
21,000	保 險 料	
5,000	支 払 利 息	
2,142,800		2,142,800

(期末整理事項)

- 売掛金￥20,000が普通預金に振り込まれていたが、未記帳である。
- 仮払金は全額1月26日に支払った備品の購入に係るものである。この備品は2月1日に納品され、同日から使用しているが、未記帳である。
- 現金過不足の原因を調査したところ、旅費交通費￥2,800の記帳漏れが判明したが、残額は原因不明のため適切に処理する。
- 当座預金勘定の貸方残高全額を当座借越勘定に振り替える。なお、当社は取引銀行との間に￥1,000,000を借越限度とする当座借越契約を締結している。
- 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法で設定する。
- 期末商品棚卸高は￥56,000である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
- 建物および備品について、以下の要領で定額法による減価償却を行う。2月1日から使用している備品（上記2参照）についても同様に減価償却を行うが、減価償却費は月割計算する。
建物：残存価額ゼロ 耐用年数30年
備品：残存価額ゼロ 耐用年数5年
- 借入金のうち￥120,000は、期間1年間、利率年3%、利息は元本返済時に1年分を支払う条件で、当期の12月1日に借り入れたものである。当期にすでに発生している利息を月割りで計上する。
- 保険料の前払分￥3,000を計上する。

損益計算書)

費用	金額	収益	金額
売上原価	()	売上高	()
給料	()		
通信費	()		
貸倒引当金繰入	()		
()	()		
旅費交通費	()		
保険料	()		
支払利息	()		
雑損	()		
()	()		
	()		()

貸借対照表

資産の部		負債・純資産の部	
現金	()	()	()
普通預金	()	買掛金	()
売掛金	()	借入金	()
貸倒引当金	()	() 費用	()
商品	()	資本金	()
() 費用	()	繰越利益剰余金	()
建物	()	()	()
建物減価償却累計額	()		
備品	()		
備品減価償却累計額	()		
土地	()		
	()		()

Chapter. 22 勘定の締切り

56 帳簿の締切り

■ 問題 56-1 ■

支払家賃の決算整理後の記入状況は次の通りであった。この費用の勘定を損益勘定に振り替える決算仕訳を書きなさい。

支払家賃	
現 金	100,000

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

■ 問題 56-2 ■

受取家賃の決算整理後の記入状況は次の通りであった。この収益の勘定を損益勘定に振り替える決算仕訳を書きなさい。

受取家賃	
	現 金 70,000

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

■ 問題 56-3 ■

次の決算整理後の各勘定残高にもとづいて、解答用紙に決算振替仕訳をし、あわせて総勘定元帳の記入を行なさい。なお、()内に勘定科目と金額を記入すること。

1. 次の諸勘定の残高を損益勘定に振り替える。

売 上 ¥100,000 受取利息 ¥2,000

仕 入 ¥20,000 支払家賃 ¥10,000

2. 1 の損益勘定の残高を繰越利益剰余金勘定に振り替える。

	借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
1				
2				

売 上

() ()	諸 口	100,000
---------	-----	---------

受取利息

() ()	現 金	2,000
---------	-----	-------

仕 入

諸 口	20,000	() ()
-----	--------	---------

支払家賃

当座預金	10,000	() ()
------	--------	---------

損 益

() ()	() ()
() ()	() ()
() ()	() ()
() ()	() ()

Chapter. 23 証ひょう仕訳

57 証ひょう仕訳

■ 問題 57-1 ■

以下の証ひょうから取引を読み取り、仕訳を行なさい。

事務所用のパソコンを購入し、次の請求書を受け取った。代金は今月末に支払う事になっている。

請求書			
東京商店 様	埼玉電器		
費目	数量	単価	金額
デスクトップパソコン	2	50,000	¥100,000
設置費用	一	5,000	¥5,000
	合計		¥105,000

借方科目	金額	貸方科目	金額

■ 問題 57-2 ■

以下の証ひょうから取引を読み取り、仕訳を行なさい。

事務所用のパソコンを購入し代金を現金で支払い、次の領収書を受け取った。

なお、消費税は税抜き方式で処理している。

領収書			
東京商店 様	埼玉電器		
費目	数量	単価	金額
デスクトップパソコン	2	50,000	¥100,000
消費税			¥10,000
	合計		¥110,000

借方科目	金額	貸方科目	金額

■ 問題 57-3 ■

以下の証ひょうから取引を読み取り、仕訳を行いなさい。

大阪商店へ商品を売上げ、代金は全額掛けとした。なお、消費税は税抜き方式で処理している。

請求書(控え)			
大阪商店 様	東京商店		
費目	数量	単価	金額
コピー用紙(A4 500枚)	2	1,000	¥2,000
		消費税	¥200
		合計	¥2,200

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

■ 問題 57-4 ■

以下の証ひょうから取引を読み取り、仕訳を行いなさい。

出張から戻った従業員から、以下の領収書が提出され、概算払いしていた¥1,000との差額を現金で受け取った。

領収書
運賃 420
市バス

領収書
運賃 500
都電

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

Chapter. 24 伝票

58 3 伝票制

■ 問題 58-1 ■

次の伝票はある取引にもとづいて作成されたものである。これらの伝票にもとづき、取引を推定し、その仕訳をしなさい。ただし、3 伝票制により起票している。

入金伝票	
科目	金額
売掛金	60,000

出金伝票	
科目	金額
借入金	60,000

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	借方科目
仕 入	140,000	支 払 手 形	140,000

	借方科目	金額	貸方科目	金額
入金伝票				
出金伝票				
振替伝票				

■ 問題 58-2 ■

次の伝票はひとつの取引にもとづいて作成されたものである。これらの伝票にもとづき、取引を推定し、その仕訳をしなさい。ただし、3伝票制により起票している。

入金伝票	
科目	金額
売掛金	20,000

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	借方科目
売掛金	120,000	売上	120,000

	借方科目	金額	貸方科目	金額

■ 問題 58-3 ■

次の伝票はひとつの取引にもとづいて作成されたものである。これらの伝票にもとづき、取引を推定し、その仕訳をしなさい。ただし、3伝票制により起票している。

出金伝票	
科目	金額
仕入	30,000

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	借方科目
仕入	70,000	買掛金	70,000

	借方科目	金額	貸方科目	金額

■ 問題 58-4 ■

次の(1)および(2)の2枚の伝票は、下記の取引について2通りの方法で作成されたものである。各伝票の()に記入すべき勘定科目または金額を答案用紙の所定の欄に記入しなさい。

[取引] 商品￥450,000を売り渡し、代金のうち￥150,000は現金で受け取り、残額は掛とした。

(1)

入金伝票	
科目	金額
売掛金	(①)

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
(②)	(③)	(④)	(③)

(2)

入金伝票	
科目	金額
売上	(⑤)

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
(⑥)	(⑦)	(⑧)	(⑦)

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

■ 問題 58-5 ■

次の(1)および(2)の2枚の伝票は、下記の取引について2通りの方法で作成されたものである。各伝票の()に記入すべき勘定科目または金額を答案用紙の所定の欄に記入しなさい。

[取引] 商品￥300,000を仕入れ、代金のうち￥50,000は現金で支払い、残額は掛とした。

(1)

出金伝票	
科目	金額
買掛金	(①)

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
(②)	(③)	(④)	(③)

(2)

出金伝票	
科目	金額
仕入	(⑤)

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
(⑥)	(⑦)	(⑧)	(⑦)

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

Chapter. 25 仕訳日計表

59

3 伝票制

■ 問題 59-1 ■

大宮商店では、毎日の取引を入金伝票、出金伝票および振替伝票の3種類の伝票に記入し、これを1日分ずつ集計して日計表を作成し、この日計表から総勘定元帳に転記している。同店の11月1日の取引について作成された次の伝票にもとづき、仕訳日計表を作成しなさい。

入金伝票 No.101
壳掛金 700

出金伝票 No.201
買掛金 800

振替伝票 No.301
買掛金 200
支払手形 200

入金伝票 No.102
壳掛金 600

出金伝票 No.202
給 料 1,000

<u>振替伝票</u>	No.302
壳掛金	400
壳 上	400

入金伝票 No.103
受取手形 600

出金伝票 No.203
支払手形 500

振替伝票 No.303
受取手形 400
売掛金 400

仕 訳 日 計 表

×年11月1日

7

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
		現 金		
		受 取 手 形		
	省	売 掛 金	省	
		支 払 手 形		
	略	買 掛 金	略	
		売 上		
		給 料		

■ 問題 59-2 ■

江南商店では、毎日の取引を入金伝票、出金伝票および振替伝票の3種類の伝票に記入し、これを1日分ずつ集計して日計表を作成し、この日計表から総勘定元帳に転記している。同店の5月1日の取引について作成された仕訳日計表にもとづいて、総勘定元帳への転記を行なさい。

仕 訳 日 計 表

×年 5月 1日

7

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
670		現 金		300
500		受 取 手 形		100
420		売 掛 金		500
150		支 払 手 形		400
300		買 掛 金		150
30		売 上		800
200		仕 入		20
2,270				2,270

総 勘 定 元 帳

受取手形

2

×年	摘要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
5 1	前 月 繰 越	✓	5,000		借	5,000

売 掛 金

3

×年	摘要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
5 1	前 月 繰 越	✓	1,000		借	1,000

支 払 手 形

5

×年	摘要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
5 1	前 月 繰 越	✓		1,400	貸	1,400

売 上

9

×年	摘要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
5 1	前 月 繰 越	✓		4,000	貸	4,000

■ 問題 59-3 ■

8月1日の取引について作成された次の伝票にもとづき、得意先元帳と仕入先元帳に転記しなさい。

<u>入金伝票</u>	No.101
売掛金 (A社) 500	

<u>出金伝票</u>	No.201
買掛金 (C社) 300	

<u>振替伝票</u>	No.301
買掛金 (D社) 60	
仕 入 60	

<u>入金伝票</u>	No.102
売掛金 (B社) 300	

<u>出金伝票</u>	No.202
仕 入 800	

<u>振替伝票</u>	No.302
売掛金 (B社) 500	
売 上 500	

<u>入金伝票</u>	No.103
売 上 200	

<u>出金伝票</u>	No.203
支払家賃 900	

<u>振替伝票</u>	No.303
受取手形 400	
売掛金 (A社) 400	

得 意 先 元 帳

A 社 1

×年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
11 1	前 月 繰 越	✓	1,000		借	1,000

B 社 2

×年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
11 1	前 月 繰 越	✓	2,000		借	2,000

仕 入 先 元 帳

C 社 1

×年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
11 1	前 月 繰 越	✓		3,000	貸	3,000

D 社 2

×年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
11 1	前 月 繰 越	✓		4,000	貸	4,000

■ 問題 59-4 ■

8月1日の取引について作成された次の伝票にもとづき、(1)仕訳日計表を作成し、(2)各元帳に転記しなさい。

<u>入金伝票</u> No.101 売掛金(A社) 600	<u>出金伝票</u> No.201 買掛金(X社) 400	
<u>入金伝票</u> No.102 受取手形 1,000	<u>出金伝票</u> No.202 仕 入 500	
<u>入金伝票</u> No.103 売 上 900	<u>出金伝票</u> No.203 給 料 300	
<u>振替伝票</u> No.301 仕 入 400 買掛金(X社) 400	<u>振替伝票</u> No.303 売掛金(A社) 300 売 上 300	<u>振替伝票</u> No.305 買掛金(X社) 100 支払手形 100
<u>振替伝票</u> No.302 買掛金(X社) 50 仕 入 50	<u>振替伝票</u> No.304 仕 入 200 支払手形 200	<u>振替伝票</u> No.306 受取手形 150 売掛金(A社) 150

仕 訳 日 計 表

×年8月1日

11

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
		現 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		支 払 手 形		
		買 掛 金		
		売 上		
		仕 入		
		給 料		

總 勘 定 元 帳

受取手形

3

×年		摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
8	1	前月繰越	✓	2,000		借	2,000

壳上

7

×年		摘要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残高
8	1	前月繰越	✓		3,000	貸	3,000

得意先元帳

A 社

1

仕 入 先 元 帳

X 社

1

Chapter. 26 固定資産台帳

60

固定資産台帳

■ 問題 60-1 ■

以下の資料にもとづき、×6年3月31日(決算日)現在の固定資産台帳を記入しなさい。

備品 A

取得年月日: ×3年4月1日
数量: 1
耐用年数: 5年
取得原価: ¥10,000
期首減価償却累計額: ¥4,000
当期減価償却費: ¥2,000

備品 B

取得年月日: ×5年10月1日
数量: 3
耐用年数: 6年
取得原価: ¥24,000
期首減価償却累計額: ¥0
当期減価償却費: ¥2,000

固定資産台帳

×6年3月31日

取得日	名称	数量	耐用年数	取得原価	期首減価償却累計額	差引期首帳簿価額	当期減価償却費	期末帳簿価額
×3年4月1日	備品A	1	5					
×5年10月1日	備品B	3	6					

■ 問題 60-2 ■

以下の資料にもとづき、×5年3月31日(決算日)現在の固定資産台帳を記入しなさい。

備品 A

取得年月日: ×1年4月1日
数量: 1
耐用年数: 10年 残存価額: 0
残存価額: 0
償却方法: 定額法
取得原価: ¥100,000

備品 B

取得年月日: ×4年10月1日
数量: 2
耐用年数: 6年
残存価額: 0
償却方法: 定額法
取得原価: ¥60,000

固定資産台帳

×5年3月31日

取得日	名称	数量	耐用年数	取得原価	期首減価償却累計額	差引期首帳簿価額	当期減価償却費	期末帳簿価額
×1年4月1日	備品A	1						
×4年10月1日	備品B	2						

Chapter. 1 簿記とは

1 簿記の5要素

■ 問題 1-1 ■ 仕訳をするときの方向に○をつけてください。

1. 資産は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
2. 負債は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
3. 純資産は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
4. 収益は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
5. 費用は増えたら(左・右)減ったら(左・右)

■ 問題 1-2 ■ 仕訳をするときの方向に○をつけてください。

1. 現金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
2. 当座預金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
3. 売掛金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
4. 買掛金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
5. 資本金は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
6. 売上は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
7. 仕入は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
8. 支払利息は増えたら(左・右)減ったら(左・右)
9. 受取利息は増えたら(左・右)減ったら(左・右)

■ 問題 1-3 ■ グループの違う科目に○をつけてください。

1.	現	金	当	座	預	金	売	掛	金	<input type="checkbox"/> 借	<input type="checkbox"/> 入	<input type="checkbox"/> 金				
2.	建	物	備	品			貸	付	金	<input type="checkbox"/> 売	<input type="checkbox"/> 上					
3.	仕	入	<input type="checkbox"/> 資	<input type="checkbox"/> 本	<input type="checkbox"/> 金		通	信	費	<input type="checkbox"/> 支	<input type="checkbox"/> 払	<input type="checkbox"/> 利	<input type="checkbox"/> 息			
4.	<input type="checkbox"/> 受	<input type="checkbox"/> 取	<input type="checkbox"/> 利	<input type="checkbox"/> 息		受	取	商品	券	貸	付	金	受	取	手	形

Chapter. 2 仕訳

2**現金のある仕訳**

■ 問題 2-1 ■ 次の取引について仕訳しなさい。勘定科目は下記から選ぶこと。

現	金	備	品	貸	付	金	売	掛	金	借	入	金
壳	上		受取手数料	仕	入		給		料	支	払	利息

1. 銀行より現金¥5,000を借入れた。

(借方) 現金 5,000 (貸方) 借入金 5,000

2. 備品¥3,000を購入して、現金で支払った。

(借方) 備品 3,000 (貸方) 現金 3,000

3. 給料¥5,000を現金で支払った。

(借方) 給料 5,000 (貸方) 現金 5,000

4. 商品¥3,000を仕入れ、現金で支払った。

(借方) 仕入 3,000 (貸方) 現金 3,000

5. 取引先から仲介手数料として¥800を現金で受け取った。

(借方) 現金 800 (貸方) 受取手数料 800

6. 取引先に現金¥2,500を貸し付けた。

(借方) 貸付金 2,500 (貸方) 現金 2,500

7. 上記1の銀行借入¥5,000を利息¥200と合わせ、現金で返済した。

(借方) 借入金 5,000 (貸方) 現金 5,200

(借方) 支払利息 200

8. 上記4の商品を¥5,000で売上げ、代金は掛とした。

(借方) 売掛金 5,000 (貸方) 売上 5,000

■ 問題 2-2 ■ 次の取引について仕訳しなさい。勘定科目は下記から選ぶこと。

現 金	備 品	貸 付 金	売 掛 金	借 入 金
売 上	受 取 手 数 料	仕 入	支 払 家 賃	水 道 光 熱 費

4 日 備品￥250,000 を購入し、代金を現金で支払った。

8 日 大阪商店に現金￥140,000 を貸し付けた。

10 日 手数料￥5,000 を現金で受け取った。

18 日 大阪商店に対する貸付金￥140,000 のうち￥40,000 を現金で返済を受けた。

25 日 家賃￥75,000 と光熱費￥15,000 を現金で支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
4	備 品	250,000	現 金	250,000
8	貸 付 金	140,000	現 金	140,000
10	現 金	5, 000	受 取 手 数 料	5,000
18	現 金	40,000	貸 付 金	40,000
25	支 払 家 賃 水 道 光 熱 費	75,000 15,000	現 金	90,000

Chapter. 3 商品売買①

3 分法と分記法

■ 問題 3-1 ■ 次の取引について、3分法と分記法で仕訳しなさい。勘定科目は下記から選ぶこと。

現	金	借	入	金	仕	入	売	上
商	品	給		料	商	品	売	買益

5 日 取引銀行より現金¥200,000を借り入れた。

10 日 大阪商店より商品¥150,000を仕入れ、代金は現金で支払った。

15 日 東京商店に上記の商品を¥280,00で販売し、代金は現金で受け取った。

20 日 従業員に給料¥50,000を現金で支払った。

30 日 借入金のうち¥30,000を現金で返済した。

3分法	借方科目	金額	貸方科目	金額
5	現金	200,000	借入金	200,000
10	仕入	150,000	現金	150,000
15	現金	280,000	売上	280,000
20	給料	50,000	現金	50,000
30	借入金	30,000	現金	30,000

分記法	借方科目	金額	貸方科目	金額
5	現金	200,000	借入金	200,000
10	商品	150,000	現金	150,000
15	現金	280,000	商品 商品売買益	150,000 130,000
20	給料	50,000	現金	50,000
30	借入金	30,000	現金	30,000

4

商品の仕入れ

■ 問題 4-1 ■

1. 商品￥34,000を購入し、現金で支払った。
2. 商品の購入を行い、代金￥30,000は月末払いとした。
3. 港商店から商品￥300,000を仕入れ、代金のうち￥100,000は現金で支払い、残額の￥200,000は掛とした。
4. 商品￥250,000を仕入れ、￥200,000を現金で支払い、残額は翌月末払いとした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	34,000	現 金	34,000
2	仕 入	30,000	買 掛 金	30,000
3	仕 入	300,000	現 買 金 買 掛 金	100,000 200,000
4	仕 入	250,000	現 買 金 買 掛 金	200,000 50,000

5

商品の売上げ

■ 問題 5-1 ■

1. 須磨商店に商品￥260,000を売り上げ、代金のうち￥50,000は須磨商店振出しの小切手で受け取り、残額については掛とした。
2. 二色商店へ商品￥180,000を売り上げ、現金￥50,000を受け取り、残額は掛とした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 売 金 壳 掛 金	50,000 210,000	壳 上	260,000
2	現 売 金 壳 掛 金	50,000 130,000	壳 上	180,000

6 売掛金元帳

■ 問題 6-1 ■

下記の取引を参考にして、当社の得意先元町商店に関する10月分売掛金元帳を完成させなさい。

- 10月1日 元町商店に対する9月末の売掛金未回収額は¥35,000であった。
- 5日 元町商店に商品¥150,000を販売して、¥50,000は元町商店振出の小切手を受取り、残額は掛とした。
- 10日 元町商店より売掛金¥50,000が当座預金口座へ入金された。
- 15日 5日に販売した商品に一部欠陥があるため¥10,000の返品を受け掛け代金と相殺した。
- 26日 元町商店に商品¥80,000を販売して、代金は掛とした。

売掛金元帳 元町商店

○1年		摘要	借 方	貸 方	借/貸	残 高
10	1	前月繰越	35,000		借	35,000
	5	売上	100,000		〃	135,000
	10	当座入金		50,000	〃	85,000
	15	返品		10,000	〃	75,000
	26	売上	80,000		〃	155,000
	31	次月繰越		155,000		
			215,000	215,000		
11	1	前月繰越	155,000		借	155,000

■ 問題 6-2 ■

次の取引により、答案用紙の売掛金元帳(神戸商事)への記入を示し、7月31日付で締め切りなさい。

7月1日 売掛金の前月繰越高は¥500,000(内訳；神戸商事¥300,000、兵庫商店¥200,000)である。

8日 神戸商事に商品¥280,000を売り渡し、代金は掛けとした。

17日 神戸商事に対して8日に売り渡した商品の中に不良品があり、¥36,000分が返品された。なお、代金は同店に対する売掛金から差し引いた。

23日 神戸商事に商品¥400,000、兵庫商店に商品¥620,000をそれぞれ売り渡し、代金は掛けとした。

30日 神戸商事に対する売掛金¥900,000、兵庫商店に対する売掛金¥500,000を、それぞれ先方振出しの小切手で回収し、ただちに当座預金に預け入れた。

売掛金元帳

神戸商事

○1年		摘要	借 方	貸 方	借/貸	残 高
7	1	前月繰越	300,000		借	300,000
	8	売上	280,000		〃	580,000
	17	返品		36,000	〃	544,000
	23	売上	400,000		〃	944,000
	30	当座入金		900,000	〃	44,000
	31	次月繰越		44,000		
			980,000	980,000		
8	1	前月繰越	44,000		借	44,000

■ 問題 7-1 ■

次の取引を解答用紙の買掛金元帳(東灘商店)に記入し、月末にこの帳簿を締め切りなさい。

9月1日 買掛金の前月繰越しは¥660,000(須磨商店¥300,000、東灘商店¥360,000)

4日 東灘商店から商品¥120,000を掛で仕入れた。

9日 上記商品のうち¥12,000を品違いにより返品した。

15日 須磨商店から¥160,000、東灘商店から¥200,000の商品を掛で仕入れた。

28日 東灘商店へ買掛代金のうち¥300,000を、小切手を振り出して支払った。

買掛金元帳

東灘商店

○1年		摘要	借方	貸方	借/貸	残高
9	1	前月繰越し		360,000	貸	360,000
	4	仕 入		120,000	〃	480,000
	9	返 品	12,000		〃	468,000
	15	仕 入		200,000	〃	668,000
	28	当座支 払	300,000		〃	368,000
	30	次月繰越し	368,000			
			680,000	680,000		
10	1	前月繰越し		368,000	貸	368,000

■ 問題 7-2 ■

次の取引により、答案用紙の買掛金元帳(大石商店)への記入を示し4月30日付けで締め切りなさい。

4月1日 買掛金の前月繰越高は¥420,000(内訳;大石商店¥220,00、春日商店¥200,000)である。

5日 大石商店より商品¥300,000を仕入れ、代金のうち¥100,00は現金で支払い、残額は掛けとした。

8日 大石商店より7日に仕入れた商品について¥10,000の返品を行い、掛け代金より差し引かれた。

16日 大石商店より商品¥350,000、春日商店より商品¥190,000をそれぞれ仕入れ、代金は掛けとした。

25日 大石商店に対する買掛金¥600,000、春日商店に対する買掛金¥140,000を、それぞれ小切手を振り出して支払った。

買掛金元帳

大石商店

○1年		摘要	借 方	貸 方	借/貸	残 高
4	1	前月繰越		220,000	貸	220,000
	5	仕 入		200,000	〃	420,000
	8	返 品	10,000		〃	410,000
	16	仕 入		350,000	〃	760,000
	25	当座支払	600,000		〃	160,000
	30	次月繰越	160,000			
			770,000	770,000		
5	1	前月繰越		160,000	貸	160,000

Chapter. 4 クレジット売掛金

8

クレジット売掛金

■ 問題 8-1 ■

1. 商品￥20,000 をクレジット払いの条件で販売した。なお信販会社への手数料￥1,000 は販売時に計上する。
2. 上記1の信販会社より手数料を差し引かれた残額￥19,000 が当座預金口座に振り込まれた。
3. 商品￥10,000 をクレジット払いの条件で販売した。なおカード会社への手数料(5%)は販売時に計上する。
4. カード会社より上記3. の残額が当座預金口座に入金された。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	クレジット売掛金 支 払 手 数 料	19,000 1,000	売 上	20,000
2	当 座 預 金	19,000	クレジット売掛金	19,000
3	クレジット売掛金 支 払 手 数 料	9,500 500	売 上	10,000
4	当 座 預 金	9,500	クレジット売掛金	9,500

Chapter. 5 転記

9

転記

■ 問題 9-1 ■

次の取引について仕訳するとともに、与えられた勘定に転記しなさい。なお、転記にあたっては日付、相手科目、金額を記入すること。

4月1日 銀行から現金¥1,000,000を借り入れた。

12日 京都商店より商品¥500,000を仕入れ、代金は現金で支払った。

24日 滋賀商店に商品を¥400,000で販売し、代金は現金で受け取った。

30日 借入金のうち¥50,000を利息¥1,000とともに現金で返済した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
4/1	現金	1,000,000	借入金	1,000,000
12	仕入	500,000	現金	500,000
24	現金	400,000	売上	400,000
30	借入金 支払利息	50,000 1,000	現金	51,000

現金		借入金	
4/1	借入金 1,000,000	12 仕入 500,000	30 現金 50,000 4/1 現金 1,000,000
24	売上 400,000	30 諸口 51,000	

仕入		売上	
12 現金 500,000			24 現金 400,000

支払利息	
30 現金 1,000	

■ 問題 9-2 ■

次の取引について仕訳するとともに、与えられた勘定に転記しなさい。なお、転記にあたっては日付、相手科目、金額を記入すること。

5月 1 日 銀行から現金¥500,000 を借り入れた。

6 日 営業用の土地¥200,000 と建物¥150,000 を購入し、代金は現金で支払った。

11 日 東京商店に現金¥30,000 を貸し付けた。

17 日 手数料¥8,000 を現金で受け取った。

25 日 従業員に対する給料¥20,000 と交通費¥3,000、広告費¥2,000 を現金で支払った。

31 日 東京商店より貸付金のうち¥20,000 を利息¥1,500 とともに現金で受け取った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
5/1	現 金	500,000	借 入 金	500,000
6	土 建 地 物	200,000 150,000	現 金	350,000
11	貸 付 金	30,000	現 金	30,000
17	現 金	8,000	受 取 手 数 料	8,000
25	給 料 旅 費 交 通 費 広 告 宣 伝 費	20,000 3,000 2,000	現 金	25,000
31	現 金	21,500	貸 付 金 受 取 利 息	20,000 1,500

現 金		土 地	
5/1 借入金 500,000	6 諸口 350,000	6 現金 200,000	
17 受取手数料 8,000	11 貸付金 30,000		
31 諸口 21,500	25 諸口 25,000		
貸 付 金		建 物	
11 現金 30,000	31 現金 20,000	6 現金 150,000	
借入金		受取利息	
	5/1 現金 500,000		31 現金 1,500
受取手数料		旅費交通費	
	17 現金 8,000	25 現金 3,000	
給料		広告宣伝費	
25 現金 20,000		25 現金 2,000	

Chapter. 6 商品売買②

10 返品（仕入戻し）

■ 問題 10-1 ■

1. 磯上商店から商品￥320,000 を仕入れ、代金は掛けとした。
2. 1の商品のうち￥10,000 分について品違いのため返品し、掛と相殺した。
3. 磯上商店に対する買掛金￥310,000 を小切手を振り出して支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	320,000	買 掛 金	320,000
2	買 掛 金	10,000	仕 入	10,000
3	買 掛 金	310,000	当 座 預 金	310,000

11 返品（売上戻り）

■ 問題 11-1 ■

1. 商品￥100,000 を売り上げ、代金は掛とした。
2. 掛で売り上げた商品に品違いがあり、￥20,000 分が返品されてきた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売 掛 金	100,000	売 上	100,000
2	売 上	20,000	売 掛 金	20,000

12 仕入れに係る費用

■ 問題 12-1 ■

1. 商品￥80,000を掛けで仕入れ、当店が負担する運賃￥3,000を現金で支払った。
2. 商品￥50,000を掛けで仕入れた。なお、先方負担の運賃￥1,500は当店が現金で支払った。(立替金勘定を用いて処理)。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	83,000	買 掛 金 現 金	80,000 3,000
2	仕 入 立 替 金	50,000 1,500	買 掛 金 現 金	50,000 1,500

13 売上に係る費用

■ 問題 13-1 ■

1. 商品を￥360,000で掛け売りし、発送運賃￥10,000は現金で支払った。
2. 商品￥325,000を掛け売りし、先方負担の発送運賃￥12,000を現金で立替払いした(立替金勘定を用いて処理)。
3. 商品￥400,000を掛け売りし、先方負担の発送運賃￥15,000を現金で立替払いした(売掛金に含めて処理)。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売 掛 金 発 送 費	360,000 10,000	売 上 金 現 金	360,000 10,000
2	売 掛 金 立 替 金	325,000 12,000	売 上 金 現 金	325,000 12,000
3	売 掛 金	415,000	売 上 金 現 金	400,000 15,000

14 仕入れ・売上に係る費用

■ 問題 14-1 ■

1. 旭川商店から商品￥580,000 を掛けで仕入れ、引取運賃￥18,000 を現金で支払った。
2. 商品を￥720,000 で掛売りし、発送運賃￥20,000 は現金で支払った。
3. 室蘭商店から商品￥480,000 を掛けで仕入れ、先方負担の引取運賃￥15,000 を現金で立替払いした(立替金勘定を用いて処理する)。
4. 富山商店から商品￥360,000 を掛けで仕入れ、先方負担の引取運賃￥10,000 を現金で立替払いした(買掛金と相殺する)。
5. 商品￥650,000 を掛売りし、先方負担の発送運賃￥24,000 を現金で立替払いした(立替金勘定を用いて処理する)。
6. 商品￥840,000 を掛売りし、先方負担の発送運賃￥30,000 を現金で立替払いした(売掛金に含めて処理する)。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	598,000	買 挂 金 現 金	580,000 18,000
2	売 挂 金 発 送 費	720,000 20,000	売 上 金 現 金	720,000 20,000
3	仕 入 立 替 金	480,000 15,000	買 挂 金 現 金	480,000 15,000
4	仕 入	360,000	買 挂 金 現 金	350,000 10,000
5	売 挂 金 立 替 金	650,000 24,000	売 上 金 現 金	650,000 24,000
6	売 挂 金	870,000	売 上 金 現 金	840,000 30,000

15 内金・手付金

■ 問題 15-1 ■

1. 三宮商店へ商品￥500,000を注文し、内金として￥100,000を現金で支払った。
2. 上記1の三宮商店から注文商品￥500,000を受け取り、代金のうち￥150,000は現金で支払い、内金を差し引いた残額は月末に支払うことにした。
3. 神戸商店から商品￥800,000の注文を受け、内金として￥300,000を現金で受け取った。
4. 上記3の商品￥800,000を引き渡し、代金は内金を差し引いた残額を月末に受け取ることにした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	前 払 金	100,000	現 金	100,000
2	仕 入	500,000	現 金 前 払 金 買 掛 金	150,000 100,000 250,000
3	現 金	300,000	前 受 金	300,000
4	前 受 金 売 掛 金	300,000 500,000	売 上	800,000

■ 問題 15-2 ■

1. 商品￥300,000を尼崎商店に注文し、代金の一部￥100,000を小切手で振り出し支払った。
2. 商品￥300,000を仕入れ、代金のうち￥100,000を先に支払った分をあて、残額は掛とした。
3. 得意先梅田商店から商品￥300,000の注文を受け、代金のうち￥100,000を小切手で受け取った。
4. 得意先梅田商店へ商品￥300,000を売り上げ、代金のうち￥100,000は先に受け取った分をあて、残額は掛とした。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	前 払 金	100,000	当 座 預 金	100,000
2	仕 入	300,000	前 払 金 買 掛 金	100,000 200,000
3	現 金	100,000	前 受 金	100,000
4	前 受 金 売 掛 金	100,000 200,000	売 上	300,000

Chapter. 7 仕入帳・売上帳

16 仕入帳・売上帳

■ 問題 16-1 ■

- 11月 4日 三宮商店よりスーツ 30着(@¥30,000)コート 40着(@¥45,000)を掛で仕入れた。
 11月 9日 布引商店よりコート 20着(@¥28,000)スーツ 10着(@¥23,000)を掛で仕入れた。
 11月 15日 布引商店から仕入れたコート 10着(@¥28,000)を返品した。
 11月 30日 大石商店からコート 10着(@¥23,000)を仕入れ、小切手を振り出して支払った。

仕 入 帳

○1年	摘要	内訳	金額
11 4	三宮商店 掛		
	スーツ 30着 @30,000	900,000	
	コート 40着 @45,000	1,800,000	2,700,000
9	布引商店 掛		
	コート 20着 @28,000	560,000	
	スーツ 10着 @23,000	230,000	790,000
15	布引商店 掛け返品		
	コート 10着 @28,000		280,000
30	大石商店 小切手		
	コート 10着 @23,000		230,000
	総仕入額		3,720,000
	仕入戻し高		280,000
	純仕入高		3,440,000

	借方科目	金額	貸方科目	金額
11/4	仕 入	2,700,000	買 掛 金	2,700,000
9	仕 入	790,000	買 掛 金	790,000
15	買 掛 金	280,000	仕 入	280,000
30	仕 入	230,000	買 掛 金	230,000

■ 問題 16-2 ■

次の取引にもとづいて、解答用紙の仕入帳と売上帳の記入を示し、締め切りなさい。

【取 引】

3/10 神戸商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

スリッパ 700 足 @ ¥300

3/14 西宮商店に次の商品を売り上げ、代金は掛けとした。

スリッパ 500 足 @ ¥500

3/23 神戸商店より 10 日に仕入れた商品のうち一部が不良品であったため、これを返品し、代金は買掛金から差し引くこととした。

スリッパ 50 足 @ ¥300

3/27 西宮商店に 14 日に売り渡した商品のうち、一部が不良品であったため、これが返品され、代金は売掛金から差し引くこととした。

スリッパ 10 足 @ ¥500

仕 入 帳

○1年		摘要	内訳	金額
3	10	神戸商店 掛		
		スリッパ(700足) (@300)		(210,000)
	23	神戸商店 掛け返品		
		スリッパ(50足) (@300)		(15,000)
	31	(総仕入)		(210,000)
		(仕入戻し)		(15,000)
		(純仕入)		(195,000)

売 上 帳

○1年		摘要	内訳	金額
3	14	西宮商店 掛		
		スリッパ(500足) (@500)		(250,000)
	27	西宮商店 掛け返品		
		スリッパ(10足) (@500)		(5,000)
	31	(総売上)		(250,000)
		(売上戻り)		(5,000)
		(純売上)		(245,000)

Chapter. 8 商品有高帳

17 商品有高帳

■ 問題 17-1 ■

次に示す取引を参考にして、4月中の消しゴムの商品有高帳を先入先出法で記入しなさい。

<取引>

4月 1日 前月からの消しゴムの繰越残高は@¥40 のものが 50 個ある。

8日 @¥45 の消しゴム 200 個を掛により仕入れる。

11日 @¥50 のボールペン 200 個を掛により仕入れる。

12日 消しゴム 200 個を@¥60 で、掛により販売した。

15日 ボールペン 100 個を@¥80 で、掛売りをした。

19日 @¥40 の消しゴム 200 個を掛により仕入れる。

25日 消しゴム 200 個を@¥70 で、掛により販売した。

(先入先出法)

商品有高帳

<消しゴム>

日付	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
4 1	前月繰越	50	40	2,000				50	40	2,000
8	仕 入	200	45	9,000				50	40	2,000
								200	45	9,000
12	売 上				50	(45)	(2,000)			
					150	(45)	(6,750)	50	(45)	(2,250)
19	仕 入	200	40	8,000				50	(45)	(2,250)
								200	(40)	(8,000)
25	売 上				50	(45)	(8,000)			
					150	(40)	(6,000)	50	(40)	(2,000)
30	次月繰越				50	(40)	(2,000)			
		450		19,000	450		19,000			
5 1	前月繰越	50	(40)	(2,000)				50	(40)	(2,000)

■ 問題 17-2 ■

次の資料にもとづいて、A)先入先出法により商品有高帳に記入し、B) 7月中の売上高、売上原価と売上総利益を計算しなさい。ただし、商品有高帳を締め切る必要はない。

7月4日	仕入	30個	原価	@¥3,100
7月9日	売上	40個	売価	@¥8,700
7月17日	仕入	80個	原価	@¥3,200
7月26日	売上	40個	売価	@¥8,900

(A)

商品有高帳

○年	摘要	受入高			払出高			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
7 1	前月繰越	30	3,000	90,000				30	3,000	90,000
4	仕 入	30	3,100	93,000				30	3,000	90,000
								30	3,100	93,000
9	売 上				30	3,000	90,000			
					10	3,100	31,000	20	3,100	62,000
17	仕 入	80	3,200	256,000				20	3,100	62,000
								80	3,200	256,000
25	売 上				20	3,100	62,000	60	3,200	192,000
					20	3,200	64,000			

(B)

月初商品棚卸高	¥ (90,000)	売 上 高	¥ (704,000)
当月商品仕入高	(349,000)	売 上 原 価	(247,000)
合 計	¥ (439,000)	売 上 総 利 益	¥ (457,000)
月末商品棚卸高	(192,000)		
売 上 原 価	¥ (247,000)		

■ 問題 17-3 ■

次の資料にもとづいて、A)移動平均法により商品有高帳に記入し、B)7月中の売上高、売上原価と売上総利益を計算しなさい。ただし、商品有高帳を締め切る必要はない。

7月 4日	仕入	30 個	原価	@¥3,100
7月 9日	売上	40 個	売価	@¥8,700
7月 17日	仕入	80 個	原価	@¥3,200
7月 26日	売上	40 個	売価	@¥8,900

(A)

商品有高帳

○年	摘要	受入高			払出高			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
7 1	前月繰越	30	3,000	90,000				30	3,000	90,000
4	仕 入	30	3,100	93,000				60	3,050	183,000
9	売 上				40	3,050	122,000	20	3,050	61,000
17	仕 入	80	3,200	256,000				100	3,170	317,000
26	売 上				40	3,170	126,800	60	3,170	190,200

(B)

月初商品棚卸高	¥ (90,000)	売 上 高	¥ (704,000)
当月商品仕入高	(349,000)	売 上 原 価	(248,800)
合 計	¥ (439,000)	売 上 総 利 益	¥ (455,200)
月末商品棚卸高	(190,200)		
売 上 原 価	<u>¥ (248,800)</u>		

Chapter. 9 簿記上の現金

18 簿記上の現金

■ 問題 18-1 ■

簿記上の現金にあたるものに○をつけなさい。

1. 他人振り出しの小切手
2. 紙幣・硬貨
3. 自己振出小切手
4. 郵便為替証書

■ 問題 18-2 ■

1. 神戸商店から商品￥80,000 を仕入れ、代金は現金で支払った。
2. 瀧酒造に商品￥200,000 を売り上げ、代金として同店振出しの小切手を受け取った。
3. 磯上商店に商品￥300,000 を売り上げ、代金のうち￥150,000 は郵便為替証書で、残額は現金で受け取った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	80,000	現 金	80,000
2	現 金	200,000	売 上	200,000
3	現 金	300,000	売 上	300,000

Chapter. 10 現金出納帳

19 現金出納帳

■ 問題 19-1 ■ 以下の取引にもとづき、現金出納帳を作成しなさい。

- 4/10 埼玉商店より商品￥1,200を仕入れ、代金は現金で支払った。
- 4/20 横浜商事への掛け代金￥2,000を現金で回収した。
- 4/30 札幌商店へ商品￥1,000を売上げ、代金は札幌商店振り出しの小切手で受け取った。

現金出納帳

×年	摘要	収入	支出	残高
4/1	前月繰越	5,000		5,000
10	埼玉商店より仕入れ		1,200	3,800
20	横浜商事より掛け代金回収	2,000		5,800
30	札幌商店へ売上	1,000		6,800
〃	次月繰越		6,800	
		8,000	8,000	
5/1	前月繰越	6,800		6,800

Chapter. 11 現金過不足

20 現金過不足

■ 問題 20-1 ■

次の一連の取引の仕訳を示しなさい。

1. 現金の実際有高が帳簿残高より¥25,000 不足していることが判明した。
2. 上記1の不足額のうち、¥8,000 は手数料の支払いの記入漏れであることが判明した。
3. 上記1の不足額のうち、¥6,000 は切手代の記入漏れであることが判明した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金過不足	25,000	現金	25,000
2	支払手数料	8,000	現金過不足	8,000
3	通信信費	6,000	現金過不足	6,000

■ 問題 20-2 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 現金の実際有高¥651,000 に対し、帳簿残高は¥610,000 であった。
2. 上記1の原因を調べたところ、手数料の受取額¥32,000 が記帳漏れとなっていた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金	41,000	現金過不足	41,000
2	現金過不足	32,000	受取手数料	32,000

Chapter. 12 当座預金

21

当座預金

■ 問題 21-1 ■

1. 商品￥300,000を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
2. 商品￥150,000を売り上げ、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
3. 商品￥100,000を売り上げ、代金は当店振り出しの小切手で受けとった。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	300,000	当 座 預 金	300,000
2	当 座 預 金	150,000	売 上	150,000
3	当 座 預 金	100,000	売 上	100,000

■ 問題 21-2 ■

1. 小切手を振り出し、当座預金から現金￥100,000を引き出した。
2. 垂水商店に商品￥140,000を売り渡し、代金として同店振出しの小切手を受け取った。
3. 須磨商店に商品￥110,000を売り渡し、代金として同店振出しの小切手を受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。
4. 芦屋商店に商品￥140,000を売り渡し、代金としてかねて当店が振り出した小切手を受け取った。
5. 尼崎商店より商品￥310,000を仕入れ、代金として現金￥50,000を支払い、残額は小切手を振り出した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 金	100,000	当 座 預 金	100,000
2	現 金	140,000	売 上	140,000
3	当 座 預 金	110,000	売 上	110,000
4	当 座 預 金	140,000	売 上	140,000
5	仕 入	310,000	現 金 当 座 預 金	50,000 260,000

22 当座預金出納帳

■ 問題 22-1 ■

以下の取引にもとづき、現金出納帳と当座預金出納帳を作成しなさい。

- 6/10 熊本商店より商品￥10,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
- 6/15 大分商事に商品￥5,000 を売上げ、￥2,000 を現金で残金は小切手で受け取った。
- 6/20 鹿児島商店に対する売掛金￥7,000 が当座預金口座に振り込まれた。
- 6/30 今月の家賃￥15,000 を現金で支払った。

現金出納帳

×年	摘要	収入	支出	残高
6/1	前月繰越	30,000		30,000
15	大分商事へ売上げ	7,000		37,000
30	家賃支払い		15,000	22,000
30	次月繰越		22,000	
		37,000	37,000	
7/1	前月繰越	22,000		22,000

当座預金出納帳

×年	摘要	収入	支出	借/貸	残高
6/1	前月繰越	15,000		借	15,000
10	熊本商店より仕入れ		10,000	〃	5,000
20	鹿児島商店より売掛金回収	7,000		〃	12,000
30	次月繰越		12,000		
		22,000	22,000		
7/1	前月繰越	12,000		借	12,000

Chapter. 13 小口現金

23 小口現金

■ 問題 23-1 ■

1. 小口現金￥10,000 を、小切手を振り出して小口現金係に渡した。
2. 小口現金係から旅費交通費￥1,800、通信費￥2,200 の支払報告を受けた。
3. 小口現金係から水道光熱費￥1,500、雑費￥1,300 の支払報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して補給した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	小 口 現 金	10,000	当 座 預 金	10,000
2	旅 費 交 通 費 通 信 費	1,800 2,200	小 口 現 金	4,000
3	水 道 光 熱 費 雑 費	1,500 1,300	当 座 預 金	2,800

■ 問題 23-2 ■

次の一連の取引の仕訳を示しなさい。

1. 7月1日 インプレストシステム(翌月補給)を採用し、小口現金係に小口現金￥50,000 を小切手を振り出して支払った。
2. 7月31日 月末となり、小口現金係から今月中の支払について次の報告を受けた。
 タクシ一代 ￥5,000 電話代 ￥4,000 ガス代 ￥3,500
 事務用品代 ￥6,000
3. 8月1日 月初につき、小口現金係に小切手￥18,500 を振出して支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	小 口 現 金	50,000	当 座 預 金	50,000
2	旅 費 交 通 費 通 信 費 水 道 光 熱 費 消 耗 品 費	5,000 4,000 3,500 6,000	小 口 現 金	18,500
3	小 口 現 金	18,500	当 座 預 金	18,500

24 小口現金出納帳

■ 問題 24-1 ■

次の取引にもとづいて、解答用紙の小口現金出納帳に記入しなさい。

【取引】

10月 8日 新聞代 ¥6,000
 10月 15日 電話代 ¥8,000
 10月 22日 バス代 ¥3,000
 11月 1日 小口現金補給

受入	○1年		摘要	支払	内訳			
					交通費	通信費	光熱費	雑費
25,000	10	1	小口現金受入れ					
		8	新聞代	6,000				6,000
		15	電話代	8,000		8,000		
		22	バス代	3,000	3,000			
			合計	17,000	3,000	8,000		6,000
		31	次月繰越	8,000				
25,000				25,000				
8,000	11	1	前月繰越					
17,000		〃	本日補給					

■ 問題 24-2 ■

次の取引を仕訳しなさい。

小口現金係から次のような支払いの報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して資金の補給を行った(インプレスト・システムによる)。

交通費 ¥3,500 通信費 ¥2,100 光熱費 ¥9,000 雜費 ¥1,700

借方科目	金額	貸方科目	金額
旅費 交通費	3,500		
通信費	2,100		
水道光熱費	9,000	当座預金	16,300
雑費	1,700		

■ 問題 24-3 ■

次の取引を小口現金出納帳に記入し、あわせて週末における締め切りと資金の補給に関する記入を行なさい。ただし、小口現金係は毎週土曜日の営業時間の終了後にその週の支払いを報告し、資金の補給を受けることになっている。なお、資金の補給方法はインプレスト・システムによっている。

15日(月)	郵便切手	¥600		
16日(火)	紅茶・コーヒ一代	¥500		
17日(水)	バス回数券	¥1,500		
18日(木)	電気代	¥5,000	はがき代	¥1,500
19日(金)	新聞代	¥1,200	タクシー代	¥2,000
20日(土)	ガス代	¥4,000		

小口現金出納帳

受入	○年	摘要	支払	内訳			
				交通費	通信費	光熱費	雑費
30,000	6	15 前週繰越					
		15 郵便切手	600		600		
		16 紅茶・コーヒ一代	500				500
		17 バス回数券	1,500	1,500			
		18 電気代	5,000			5,000	
		〃 はがき代	1,500		1,500		
		19 新聞代	1,200				1,200
		〃 タクシー代	2,000	2,000			
		20 ガス代	4,000			4,000	
		合計	16,300	3,500	2,100	9,000	1,700
16,300		本日補給					
		次週繰越	30,000				
46,300			46,300				
30,000	6	22 前週繰越					

Chapter. 14 約束手形

25 約束手形

■ 問題 25-1 ■

次の一連の取引について各商店の立場から仕訳しなさい。

1. 神戸商店は、大阪商店より商品￥50,000を仕入れ、代金は掛けとした。
2. 神戸商店は大阪商店に対し、買掛金の支払いのため約束手形￥50,000を振り出して支払った。
3. 上記約束手形が支払期日となり、当座預金口座から引き落とされ、大阪商店の当座預金口座に入金された。

神戸商店

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕 入	50,000	買 掛 金	50,000
2	買 掛 金	50,000	支 払 手 形	50,000
3	支 払 手 形	50,000	当 座 預 金	50,000

大阪商店

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	売 掛 金	50,000	売 上	50,000
2	受 取 手 形	50,000	売 掛 金	50,000
3	当 座 預 金	50,000	受 取 手 形	50,000

■ 問題 25-2 ■

次の一連の取引について仕訳しなさい。

1. 雲井商店は、春日野商店から商品￥200,000 を仕入れ、代金は春日野商店宛ての約束手形を振り出して支払った。
2. 上記 1. の約束手形￥200,000 が支払期日になり、当座預金で決済された。
3. 六甲商店は篠原商店に商品￥250,000 を売り渡し、代金は篠原商店振出しの約束手形で受け取った。
4. 六甲商店は、かねて取立てを依頼していた上記 3.の約束手形￥250,000 が満期日に決済され、当座預金に代金￥250,000 が入金された旨、取引銀行から通知を受けた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	200,000	支 払 手 形	200,000
2	支 払 手 形	200,000	当 座 預 金	200,000
3	受 取 手 形	250,000	売 上	250,000
4	当 座 預 金	250,000	受 取 手 形	250,000

26 受取手形記入帳と支払手形記入帳

■ 問題 26-1 ■

次の帳簿の名称を()の中に記入し、あわせてこの帳簿に記録されている諸取引を仕訳しなさい。

(受取手形)記入帳

○年	手形種類	手形番号	摘要	支払人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
						月	日	月	日			月	日	摘要
3	3	約 11	売上	大阪	大阪	3	3	6	3	A銀行	10,000	6	3	当座入金
4	5	約 23	売掛金	京都	京都	4	5	7	5	B銀行	20,000	7	5	当座入金

取引日	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/3	受取手形	10,000	売上	10,000
4/5	受取手形	20,000	売掛金	20,000
6/3	当座預金	10,000	受取手形	10,000
7/5	当座預金	20,000	受取手形	20,000

■ 問題 26-2 ■

次の帳簿の名称を()の中に記入し、あわせてこの帳簿に記録されている諸取引を仕訳しなさい。

(支払手形)記入帳

○年	手形種類	手形番号	摘要	受取人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
						月	日	月	日			月	日	摘要
5	5	約 21	仕入	神戸	当社	5	5	8	5	C銀行	30,000	8	5	当座引落
7	7	約 33	買掛金	東京	当社	7	7	10	7	D銀行	40,000			

取引日	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/5	仕入	30,000	支払手形	30,000
7/7	買掛金	40,000	支払手形	40,000
8/5	支払手形	30,000	当座預金	30,000



PR



■ 問題 27-1 ■

秋田商事の×2年7月の取引(一部)は次のとおりである。それぞれの日付の取引が、どの補助簿に記入されるか、該当する補助簿の欄に○をつけなさい。

1. 青森商店は商品￥200,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、発送費￥4,500は小切手を振り出して支払った。
2. 青森商店から仕入れていた商品￥10,000を品違いのため返品し、掛代金から差し引くことにした。
3. 秋田商店に商品￥30,000を売り渡し代金のうち￥15,000は小切手で受け取り、残額は掛けとした。
4. 建物￥300,000を購入し、代金のうち￥100,000は現金で、残額は小切手を振り出して支払った。
5. 山形商店に対する掛代金￥100,000の支払いに同額の約束手形を振り出した。

	1	2	3	4	5
現金出納帳			○	○	
当座預金出納帳	○			○	
商品有高帳	○	○	○		
売掛金元帳			○		
買掛金元帳	○	○			○
受取手形記入帳					
支払手形記入帳					○
仕入帳	○	○			
売上帳			○		
固定資産台帳				○	

■ 問題 28-1 ■

次の取引について大阪商店と東京商店の仕訳をしなさい。

1. 大阪商店は、東京商店から商品￥1,000を掛けで仕入れた。
2. 大阪商店および東京商店は、上記1の掛代金について、取引銀行を通じて電子記録債権・債務の発生記録を行った。
3. 支払期限が到来したので、上記2の電子記録債権・債務が大阪商店の当座預金口座から引き落とされ、東京商店の当座預金口座へ振り込まれた。

大阪商店	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕 入	1,000	買 掛 金	1,000
2	買 掛 金	1,000	電子記録債権	1,000
3	電子記録債権	1,000	当 座 預 金	1,000

東京商店	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	売 掛 金	1,000	売 上	1,000
2	電子記録債権	1,000	売 掛 金	1,000
3	当 座 預 金	1,000	電子記録債権	1,000

Chapter. 15 固定資産

29

固定資産の購入

■ 問題 29-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 建物を¥900,000 で購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、登記料¥30,000 と仲介手数料¥10,000 は現金で支払った。
2. 備品を¥400,000 で購入した。購入に際して必要となった運賃¥20,000 とあわせ現金で支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	建 物	940,000	当 座 預 金 現 金	900,000 40,000
2	備 品	420,000	現 金	420,000

■ 問題 29-2 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 1台あたり¥150,000 の事務用パソコンを8台購入し、引取運賃¥10,000 とあわせ現金で支払った。
2. 店舗拡張のため、土地 200m²を 1m²につき¥30,000 で購入し、代金は登記料¥20,000 および仲介手数料¥45,000 とともに、小切手を振り出して支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	備 品	1,210,000	現 金	1,210,000
2	土 地	6,065,000	当 座 預 金	6,065,000

Chapter. 16 その他の債権・債務①

30 貸付金と借入金

■ 問題 30-1 ■

次の取引について仕訳をしなさい。

1. 兵庫商店は銀行より現金￥100,000を借入れ、ただちに当座預金に預け入れた。
2. 兵庫商店は上記の借入金を利息￥1,000とともに現金で返済した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	当 座 預 金	100,000	借 入 金	100,000
2	借 入 金 支 払 利 息	100,000 1,000	現 金	101,000

■ 問題 30-2 ■

次の取引について大阪商店と東京商店の仕訳をしなさい。

1. 大阪商店は東京商店から期間9か月、利率年6%で現金￥200,000を貸し付けた。
2. 大阪商店は上記の貸付金を満期日に利息とともに東京商店振出しの小切手で返済を受けた。

大阪商店	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	貸 付 金	200,000	現 金	200,000
2	現 金	209,000	貸 付 金 受 取 利 息	200,000 9,000

東京商店	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 金	200,000	借 入 金	200,000
2	借 入 金 支 払 利 息	200,000 9,000	当 座 預 金	209,000

■ 問題 30-3 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

- 西宮商店へ￥500,000を貸し付けた。利息は年6%、貸付期間4カ月で、利息分を差し引いた残額を現金で渡した。
- 甲山商店へ現金￥600,000を貸し付けた。利息は年(365日とする)5%、貸付期間146日で、利息分を差し引いた残額を小切手を振り出して支払った。
- 銀行から￥700,000を借り入れ、利息(年(365日とする)5%、借入期間219日)を差し引かれた手取り金を当座預金に預け入れた。
- 大阪商事より￥800,000を借り入れた。利息は年6%、借入期間は5カ月で、利息分を差し引いた手取り金を小切手で受け取った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	貸 付 金	500,000	現 受 取 利 息	490,000 10,000
2	貸 付 金	600,000	受 取 利 息 当 座 預 金	12,000 588,000
3	当 座 預 金 支 払 利 息	679,000 21,000	借 入 金	700,000
4	現 当 座 預 金	780,000 20,000	借 入 金	800,000

31 手形貸付金と手形借入金

■ 問題 31-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

- 鳥取商店に現金￥10,000を貸付け、同額の約束手形を受け取った。
- 広島銀行より現金￥50,000を借入れ、同額の約束手形を振り出した。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	手 形 貸 付 金	10,000	現 金	10,000
2	現 金	50,000	手 形 借 入 金	50,000

32

未収入金と未払金

■ 問題 32-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 芦屋商店より営業用土地￥7,000,000 を買入れ、代金は月末払いとした。
2. 上記1の土地代金を、小切手を振り出して支払った。
3. 建物を￥5,000,000 で買入れ、代金は月末に支払うこととした。
4. 簿価￥1,000,000 の営業用車両を￥1,000,000 で売却し、代金は月末に受取ることとした。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	土地	7,000,000	未払金	7,000,000
2	未払金	7,000,000	当座預金	7,000,000
3	建物	5,000,000	未払金	5,000,000
4	未収入金	1,000,000	車両運搬具	1,000,000

■ 問題 32-2 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 先月末に営業用トラック￥3,000,000 を購入したさいに未払いとなっていた残額￥2,500,000 を、小切手を振り出して支払った。
2. 営業用の建物を￥4,000,000 で購入し、代金のうち￥400,000 を小切手を振り出して支払い、残額は翌月から毎月末に￥360,000 ずつ分割で支払うことになった。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	未払金	2,500,000	当座預金	2,500,000
2	建物	4,000,000	当座預金 未払金	400,000 3,600,000

33

仮払金と仮受金

■ 問題 33-1 ■

1. 出張中の社員から¥200,000 の当座振込みがあったが、その内容は現在のところ不明である。
2. 出張中の従業員から送金小切手¥260,000 の送付を受けた。このうち、¥100,000 は売掛金の回収分であることが判明したが、残額の内容は不明であった。
3. 従業員の出張費用として¥100,000を現金で概算払いしていたが、この従業員が出張先から戻り、新幹線の切符代¥55,000 と宿泊料¥35,000 を差し引いた残額を現金で受け取った。
4. 出張中の従業員から当座預金口座へ振り込まれ、仮受金として処理していた¥120,000 は、得意先福島商店から受け取った商品売渡しに係る手付金であることが判明した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	200,000	仮受金	200,000
2	現金	260,000	売掛け金 仮受金	100,000 160,000
3	旅費交通費 現金	90,000 10,000	仮払金	100,000
4	仮受金	120,000	前受金	120,000

■ 問題 33-2 ■

1. 従業員の出張にあたり、旅費や通信費などの概算額¥100,000 を現金で渡した。
2. 従業員が帰店し、旅費¥60,000、通信費¥20,000 を精算し残額を現金で受け取った。
3. 出張中の従業員より当座預金口座に¥20,000 が振り込まれていたがその内容は不明である。
4. 従業員が帰店し、上記の入金は得意先からの売掛け金の回収分であることが判明した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仮払金	100,000	現金	100,000
2	旅費交通費 通信費 現金	60,000 20,000 10,000	仮払金	100,000
3	当座預金	20,000	仮受金	20,000
4	仮受金	20,000	売掛け金	20,000

34

立替金と預り金

■ 問題 34-1 ■

1. 従業員が私用のために購入したパソコンの代金￥50,000を、現金で立て替えて支払った。
2. 従業員に給料総額￥250,000を支給のさいに、従業員への立替分￥50,000と源泉所得税￥16,000を差し引いた手取金を現金で支払った。
3. 従業員より徴収した所得税￥154,000を税務署に現金で納付した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	従業員立替金	50,000	現金	50,000
2	給料	250,000	従業員立替金 所得税預り金 現金	50,000 16,000 184,000
3	所得税預り金	154,000	現金	154,000

■ 問題 34-2 ■

1. 給料￥200,000の支払いに際し、所得税￥18,000を差し引き、残額を現金で渡した。
2. 給料￥200,000の支払いに際し、所得税￥20,000と健康保険料￥10,000を差し引き、残額を当座預金口座から従業員の普通預金口座に振り込んだ。
3. 従業員の飲食代￥20,000を現金で立て替え払いした。
4. 給料￥100,000の支払いに際し、立て替え払いの分￥20,000を差し引き、残額を現金で渡した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	給料	200,000	所得税預り金 現金	18,000 182,000
2	給料	200,000	所得税預り金 社会保険料預り金 当座預金	20,000 10,000 170,000
3	従業員立替金	20,000	現金	20,000
4	給料	100,000	従業員立替金 現金	20,000 80,000

Chapter. 17 その他の債権・債務②

35 受取商品券

■ 問題 35-1 ■

1. 商品￥10,000 を売上げ、代金は自治体発行の商品券で受け取った。
2. 商品￥20,000 を売上げ、代金のうち半分を商工会議所発行の商品券で残りは現金で受け取った。
3. 上記1の商品券の換金請求を行い、￥10,000 が当座預金に振り込まれた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	受取商品券	10,000	売上	10,000
2	受取商品券 現金	10,000 10,000	売上	20,000
3	当座預金	10,000	受取商品券	10,000

36 差入保証金・租税公課

■ 問題 36-1 ■

1. 事務所を借りる契約を結び、敷金￥30,000 を現金で支払った。
2. 収入印紙￥12,000 を現金で購入した。
3. 営業用車両の自動車税￥10,000 を現金で納付した。
4. 店舗の固定資産税￥30,000 を、小切手を振り出して納付した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	差入保証金	30,000	現金	30,000
2	租税公課	12,000	現金	12,000
3	租税公課	10,000	現金	10,000
4	租税公課	30,000	当座預金	30,000

37 株式の発行

■ 問題 37-1 ■

- 株式500株を1株あたり¥100で発行し、全株式の払い込みをうけ、払込金額は当座預金とした。
- 株式1,000株を1株あたり¥200で発行し、全株式の払い込みをうけ、全額を資本金とともに、払込金額は当座預金とした。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	50,000	資本金	50,000
2	当座預金	200,000	資本金	200,000

38 消費税

■ 問題 38-1 ■

次の取引を仕訳しなさい。なお消費税は税抜き方式で処理し、10%で計算すること。

- 商品¥110,000(税込み)を仕入れ、代金は掛けとした。
- 商品¥19,800(税込み)を売上げ、代金は掛けとした。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入 仮払消費税	100,000 10,000	買掛金	110,000
2	売掛金	19,800	売上 仮受消費税	18,000 1,800

39

訂正仕訳

■ 問題 39-1 ■

1. 商品￥1,000 を掛けで販売したが、誤って借方を現金と仕訳していた。
2. 土地￥10,000 を購入し、代金は翌月末払いとしていたが、誤って以下の仕訳をしていた。

土地 10,000 買掛金 10,000

3. 商品￥5,000 を売上げ、代金は掛けとしていたが、貸借逆に仕訳していた。
4. 売掛金￥1,000 を現金で回収した際に、誤って売上に計上していた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売 掛 金	1,000	現 金	1,000
2	買 掛 金	10,000	未 払 金	10,000
3	売 掛 金	10,000	売 上	10,000
4	売 上	1,000	売 掛 金	1,000

■ 問題 39-2 ■

1. 商品￥1,000 を仕入れ、約束手形を振り出したが、金額を￥100 として仕訳をしていた。
2. 商品￥20,000 を売却し代金が当座預金に振り込まれたが、誤って以下の仕訳をしていた。。

普通預金 20,000 売上 20,000

3. 商品￥5,000 を売上げ、同額の約束手形を受け取っていたが、貸借逆に仕訳していた。
4. 家賃￥30,000 を支払い、代金は小切手を振り出して支払ったが、貸方を現金で仕訳していた。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕 入	900	支 払 手 形	900
2	当 座 預 金	20,000	普 通 預 金	20,000
3	受 取 手 形	10,000	売 上	10,000
4	現 金	30,000	当 座 預 金	30,000

Chapter. 18 試算表

40 試算表

■ 問題 40-1 ■
以下の勘定記録から、合計残高試算表を作成しなさい。

現金		普通預金	
5,000	2,000	35,000	3,000
8,000	500		1,500
3,000			800
売掛金		繰越商品	
12,000	8,000	15,000	
買掛金		資本金	
2,000	4,000		50,000
1,000			
繰越利益剰余金		売上	
	12,000		5,000
仕入		水道光熱費	
6,000	1,000	800	

合計残高試算表

借 方		勘定科目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
13,500	16,000	現 金	2,500	
29,700	35,000	普 通 預 金	5,300	
4,000	12,000	売 掛 金	8,000	
15,000	15,000	繰 越 商 品		
	3,000	買 掛 金	4,000	1,000
		資 本 金	50,000	50,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	12,000	12,000
		売 上	5,000	5,000
5,000	6,000	仕 入	1,000	
800	800	水 道 光 熱 費		
68,000	87,800		87,800	68,000

■ 問題 40-2 ■

以下の資料にもとづいて、答案用紙の×2 年 7 月 31 日の合計残高試算表と、売掛金および買掛金の明細表を作成しなさい。

[資料 I] ×2 年 6 月 30 日現在の合計試算表

借 方	勘定科目	貸 方
40,000	現 金	7,000
30,000	当 座 預 金	17,000
20,000	受 取 手 形	5,000
10,000	電 子 記 録 債 権	3,000
36,000	売 掛 金	22,000
15,000	前 払 金	10,000
47,000	繰 越 商 品	
3,000	備 品	
	支 払 手 形	33,000
	電 子 記 録 債 務	25,000
2,000	買 掛 金	30,000
	未 払 金	3,000
	所 得 税 預 り 金	4,000
	資 本 金	70,000
	繰越利益剰余金	5,000
	売 上	65,000
	受 取 利 息	1,000
45,000	仕 入	
40,000	給 料	
2,000	通 信 費	
6,000	租 稅 公 課	
4,000	発 送 費	
300,000		300,000

[資料 II] 7 月中の取引

- 2 日 東京商店へ商品￥5,000 を掛けで売り上げた。
- 5 日 先月購入した備品￥3,000 の代金を現金で支払った。
- 10 日 収入印紙￥3,000 と切手￥2,000 を現金で購入した。
- 15 日 電子債権記録機関に記録した債権￥5,000 の支払期日が到来し、当座預金に振り込まれた。
- 20 日 神田商店に対する、売掛金￥5,000 の回収として、小切手を受け取った。
- 22 日 橋本商店より先月掛けで仕入れていた商品に品違いがあったため、商品￥3,000 を返品し、掛代金から差し引いた。
- 25 日 盛岡商店に対する、買掛金￥10,000 について、約束手形を振り出して支払った。
- 27 日 埼玉商店から商品￥7,000 を仕入れ、代金のうち￥5,000 はあらかじめ支払っていた手付金を充当し、残額は掛けとした。
- 30 日 給料総額￥10,000 のうち、源泉所得税￥1,000 を差し引いた残額を現金で支払った。

2 日	売 掛 金	5,000	売 上	5,000	22 日	買 掛 金	3,000	仕 入	3,000
5 日	未 払 金	3,000	現 金	3,000	25 日	買 掛 金	10,000	支 払 手 形	10,000
10 日	租 税 公 課	3,000	現 金	5,000	27 日	仕 入	7,000	前 払 金	5,000
	通 信 費	2,000						買 掛 金	2,000
15 日	当 座 預 金	5,000	電 子 記 録 債 権	5,000	30 日	給 料	10,000	所 得 税 預 り 金	1,000
								現 金	9,000
20 日	現 金	5,000	売 掛 金	5,000					

合計残高試算表

借 方		勘定科目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
21,000	45,000	現 金	24,000	
18,000	35,000	当 座 預 金	17,000	
15,000	20,000	受 取 手 形	5,000	
2,000	10,000	電 子 記 錄 債 權	8,000	
14,000	41,000	売 掛 金	27,000	
	15,000	前 払 金	15,000	
47,000	47,000	繰 越 商 品		
3,000	3,000	備 品		
		支 払 手 形	43,000	43,000
		電 子 記 錄 債 務	25,000	25,000
	15,000	買 掛 金	32,000	17,000
	3,000	未 払 金	3,000	
		所 得 税 預 り 金	5,000	5,000
		資 本 金	70,000	70,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	5,000	5,000
		売 上	70,000	70,000
		受 取 利 息	1,000	1,000
49,000	52,000	仕 入	3,000	
50,000	50,000	給 料		
4,000	4,000	通 信 費		
9,000	9,000	租 稅 公 課		
4,000	4,000	発 送 費		
236,000	353,000		353,000	236,000

売掛金明細

	6月30日	7月31日
神田商店	8,000	3,000
東京商店	4,000	9,000
兵庫商店	2,000	2,000
	14,000	14,000

買掛金明細

	6月30日	7月31日
盛岡商店	18,000	8,000
橋本商店	8,000	5,000
埼玉商店	2,000	4,000
	28,000	17,000

神田商店 8,000 - 5,000

盛岡商店 18,000 - 10,000

東京商店 4,000 + 5,000

橋本商店 8,000 - 3,000

兵庫商店 2,000

埼玉商店 2,000 + 2,000

■ 問題 40-3 ■

以下の資料にもとづいて、答案用紙の×3年5月31日の残高試算表を作成しなさい。

[資料I] ×3年4月30日現在の残高試算表

借 方	勘定科目	貸 方
16,000	現 金	
1,000	現 金 過 不 足	
22,000	当 座 預 金	
20,000	普 通 預 金	
10,000	受 取 手 形	
800	受 取 商 品 券	
13,000	売 掛 金	
2,000	クレジット売掛金	
10,000	仮 払 金	
30,000	車 両	
	支 払 手 形	10,000
	買 掛 金	20,000
	未 払 法 人 税 等	6,000
	資 本 金	10,000
	繰越利益剰余金	9,000
	売 上	80,000
	受 取 地 代	10,000
55,000	仕 入	
8,000	租 稅 公 課	
200	通 信 費	
5,000	支 払 手 数 料	
12,000	旅 費 交 通 費	
145,000		145,000

[資料II] 5月中の取引

- 1日 先々月の掛代金￥3,000が当座預金口座に振り込まれた。
- 3日 商品￥10,000を仕入れ、運賃￥500とともに、現金で支払った。
- 7日 売掛金￥5,000の回収として、当店あての約束手形で受け取った。
- 11日 現金過不足につき、その原因を調査していたが、切手の購入代金￥500の記帳漏れが判明した。
- 16日 営業用車両にかかる自動車税￥6,000を小切手を振り出して支払った。
- 21日 商品￥5,000を販売し、代金のうち￥3,000は自治体発行の商品券で受け取り、残額はかつて当店が振り出した小切手で受け取った。
- 23日 従業員が出張から帰り、旅費の精算を行い、概算払額￥10,000の残額￥2,000を現金で受け取った。
- 26日 店舗の賃借にあたり、敷金￥10,000と今月の家賃￥5,000を当社の普通預金口座から不動産業者の当座預金口座へ振り込んだ。
- 30日 商品￥7,000をクレジット払いの条件で販売した。手数料5%は販売時に計上する。

1日	当 座 預 金	3,000	売 掛 金	3,000	23日	旅 費 交 通 費	8,000	仮 払 金	10,000
3日	仕 入	10,500	現 金	10,500		現 金	2,000		
7日	受 取 手 形	5,000	売 掛 金	5,000	26日	差 入 保 証 金	10,000	普 通 預 金	15,000
11日	通 信 費	500	現 金 過 不 足	500		支 払 家 貨	5,000		
16日	租 税 公 課	6,000	当 座 預 金	6,000	30日	ク レ ジ イ ツ ト	6,650	売 上	7,000
21日	受 取 商 品 券	3,000	売 上	5,000		売 掛 金			
	当 座 預 金	2,000				支 払 手 数 料	350		

残高試算表

借 方			勘定科目	貸 方		
月末残高	期中取引	月初残高		月初残高	期中取引	月末残高
7,500	2,000	16,000	現 金		10,500	
500		1,000	現 金 過 不 足		500	
11,000	5,000	12,000	当 座 預 金		6,000	
5,000		20,000	普 通 預 金		15,000	
8,000	5,000	3,000	受 取 手 形			
3,800	3,000	800	受 取 商 品 券			
2,000		10,000	売 掛 金		8,000	
8,650	6,650	2,000	クレジット売掛金			
		10,000	仮 払 金		10,000	
20,000		20,000	車 両			
10,000	10,000		(差 入 保 証 金)			
			支 払 手 形	10,000		10,000
			買 掛 金	20,000		20,000
			未 払 法 人 税 等	6,000		6,000
			貸 倒 引 当 金	2,000		2,000
			減 價 償 却 累 計 額	3,000		3,000
			資 本 金	10,000		10,000
			繰 越 利 益 剰 余 金	9,000		9,000
			売 上	75,000	12,000	87,000
			受 取 地 代	10,000		10,000
45,500	10,500	35,000	仕 入			
14,000	6,000	8,000	租 稅 公 課			
700	500	200	通 信 費			
5,350	350	5,000	支 払 手 數 料			
5,000	5,000		支 払 家 賃			
10,000	8,000	2,000	旅 費 交 通 費			
157,000	62,000	145,000		145,000	62,000	157,000

■ 問題 40-4 ■

答案用紙に記載されている月初繰越高と、下記(資料)12月における月中取引にもとづいて、12月末における合計試算表を作成しなさい。

(資料)12月における月中取引

1. 商品の売上高

(1)掛けによる売上高	31,000 円
(このうちの戻り高)	400 円)
(2)約束手形受入れによる売上高	22,500 円

2. 商品の仕入高

(1)掛けによる仕入高	21,600 円
(このうちの戻し高)	800 円)
(2)約束手形振出しによる仕入高	17,000 円

3. 現金の増減取引

(1)利息の受取り	500 円
(2)給料の支払い	3,800 円
(3)通信費の支払い	600 円
(4)家賃の支払い	900 円
(5)手付金の受取り	5,200 円

4. 当座預金の増減取引

(1)売掛け金の回収	30,800 円
(2)買掛け金の支払い	20,000 円
(3)手形代金の取立て	16,100 円
(4)手形代金の支払い	16,600 円
(5)借入金の支払い(利息 200 円を含む)	10,200 円

5. その他の取引

(1)得意先の倒産による売掛け金の貸倒高	600 円
----------------------	-------

1. 商品の売上高

(1) 売 掛 金	31,000	売 上	31,000
売 上	400	売 掛 金	400
(2) 受 取 手 形	22,500	売 上	22,500

2. 商品の仕入高

(1) 仕 入	21,600	買 掛 金	21,600
買 掛 金	800	仕 入	800
(2) 仕 入	17,000	支 払 手 形	17,000

3. 現金の増減取引

(1) 現 金	500	受 取 利 息	500
給 料	3,800	現 金	3,800

(3)	通 信 費	600	現 金	600
(4)	支 払 家 賃	900	現 金	900
(5)	現 金	5,200	前 受 金	5,200

4. 当座預金の増減取引

(1)	当 座 預 金	30,800	売 掛 金	30,800
(2)	買 掛 金	20,000	当 座 預 金	20,000
(3)	当 座 預 金	16,100	受 取 手 形	16,100
(4)	支 払 手 形	16,600	当 座 預 金	16,600
(5)	借 入 金	10,000	当 座 預 金	10,200
	支 払 利 息	200		

5. その他の取引

(1)	貸 倒 引 当 金	600	売 掛 金	600
-----	-----------	-----	-------	-----

合計試算表

○年 12月 31日

借 方		勘定科目	貸 方	
合 計	月 初 繰 越 高		月 初 繰 越 高	合 計
52,600	46,900	現 金	38,300	43,600
159,600	112,700	当 座 預 金	72,400	119,200
82,200	59,700	受 取 手 形	33,300	49,400
101,600	70,600	売 掛 金	45,300	77,100
18,200	18,200	繰 越 商 品		
24,000	24,000	備 品	8,100	8,100
51,200	34,600	支 払 手 形	51,400	68,400
49,700	28,900	買 掛 金	49,400	71,000
20,000	10,000	借 入 金	33,500	33,500
		(前 受 金)		5,200
600		貸 倒 引 当 金	1,100	1,100
		資 本 金	60,000	60,000
400		売 上	98,600	152,100
		受 取 利 息	200	700
103,800	65,200	仕 入		800
17,400	13,600	給 料		
3,100	2,500	通 信 費		
4,800	3,900	支 払 家 賃		
1,000	800	支 払 利 息		
690,200	491,600		503,100	690,200

■ 問題 40-5 ■

下記の6月における期中取引を加えて、解答欄の6月末の残高試算表を完成しなさい。

6月の取引：

1. 現金の増減

a	現 金	320,000	売 上	320,000
b	仕 入	144,000	現 金	144,000
c	現 金	30,000	当 座 預 金	30,000
d	当 座 預 金	108,000	現 金	108,000
e	現 金	180,000	売 掛 金	180,000
f	買 掛 金	70,000	現 金	70,000
g	支 払 家 貸	180,000	現 金	180,000
h	給 料	238,000	現 金	238,000
i	通 信 費	26,000	現 金	26,000

2. 当座預金の増減

a	当 座 預 金	108,000	現 金	108,000
b	現 金	30,000	当 座 預 金	30,000
c	当 座 預 金	432,000	受 取 手 形	432,000
d	支 払 手 形	392,000	当 座 預 金	392,000
e	当 座 預 金	264,000	売 掛 金	264,000
f	買 掛 金	240,000	当 座 預 金	240,000
g	仕 入	75,000	当 座 預 金	75,000

3. 商品の仕入高

a	仕 入	144,000	現 金	144,000
b	仕 入	75,000	当 座 預 金	75,000
c	仕 入	368,000	買 掛 金	368,000
	買 掛 金	30,000	仕 入	30,000
d	仕 入	182,000	支 払 手 形	182,000

4. 商品の売上高

a	現 金	320,000	売 上	320,000
b	売 掛 金	420,000	売 上	420,000
	売 上	15,000	売 掛 金	15,000
c	受 取 手 形	273,000	売 上	273,000

5. その他の取引

a	受 取 手 形	56,000	売 掛 金	56,000
b	買 掛 金	60,000	支 払 手 形	60,000

2重仕訳 1a⇒4a 1b⇒3a 1c⇒2b 1d⇒2a

残高試算表

借 方		勘定科目	貸 方	
残高	月初繰越高		月初繰越高	残高
93,000	1,087,000	現 金	758,000	
304,000	1,360,000	当 座 預 金	1,123,000	
299,000	1,280,000	受 取 手 形	878,000	
173,000	1,400,000	売 掛 金	1,132,000	
484,000	484,000	繰 越 商 品		
1,000,000	1,000,000	備 品		
675,000	675,000	貸 付 金		
	340,000	支 払 手 形	1,050,000	560,000
	750,000	買 掛 金	1,500,000	718,000
		資 本 金	1,500,000	1,500,000
		繰越利益剩余金	1,500,000	1,500,000
		売 上	2,367,000	3,365,000
		受 取 利 息	192,000	192,000
3,139,000	2,400,000	仕 入		
754,000	516,000	給 料		
610,000	430,000	支 払 家 賃		
152,000	126,000	通 信 費		
80,000	80,000	消 耗 品 費		
72,000	72,000	支 払 利 息		
7,835,000	12,000,000		12,000,000	7,835,000

Chapter. 19 決算

41 決算

■ 問題 41-1 ■ 次の精算表を完成させなさい。

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	64,000		2,000				66,000	
現 金 過 不 足		5,000	5,000					
当 座 預 金	26,000						26,000	
受 取 手 形	20,000						20,000	
売 掛 金	10,000						10,000	
仮 払 金	5,000			5,000				
繰 越 商 品	6,000		8,000	6,000			8,000	
建 物	40,000						40,000	
支 払 手 形		8,000						8,000
買 掛 金		7,000						7,000
貸 倒 引 当 金		4,000		2,000				6,000
減 價 償 却 累 計 額		8,000		1,000				9,000
資 本 金		50,000						50,000
繰 越 利 益 剰 余 金		70,000						70,000
売 上		200,000				200,000		
受 取 家 貸		10,000	1,000			9,000		
仕 入	80,000		6,000	8,000	78,000			
旅 費 交 通 費	13,000		3,000		16,000			
通 信 費	15,000			2,000	13,000			
保 險 料	33,000			3,000	30,000			
給 料	50,000		2,000		52,000			
	362,000	362,000						
雜 益				5,000		5,000		
貯 藏 品			2,000				2,000	
貸 倒 引 当 金 繰 入			2,000		2,000			
減 價 償 却 費			1,000		1,000			
未 払 給 料				2,000				2,000
前 払 保 險 料			3,000				3,000	
前 受 家 貸				1,000				1,000
當 期 純 利 益					22,000			22,000
			35,000	35,000	214,000	214,000	175,000	175,000

■ 問題 41-2 ■

次の精算表を完成させなさい。

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	68,000			5,000			63,000	
当 座 預 金		4,000	4,000					
受 取 手 形	20,000						20,000	
売 掛 金	10,000			4,000			6,000	
仮 払 消 費 税	8,000			8,000				
繰 越 商 品	12,000		10,000	12,000			10,000	
建 物	40,000						40,000	
備 品	20,000		5,000				25,000	
支 払 手 形		20,000						20,000
買 掛 金		9,000						9,000
仮 受 金		4,000	4,000					
仮 受 消 費 税		13,000	13,000					
貸 倒 引 当 金		6,000		3,000				9,000
建物減価償却累計額		12,000		800				12,800
備品減価償却累計額		8,000		700				8,700
資 本 金		50,000						50,000
繰 越 利 益 剰 余 金		30,000						30,000
売 上		170,000				170,000		
仕 入	50,000		12,000	10,000	52,000			
租 稅 公 課	15,000			3,000	12,000			
保 険 料	33,000		5,000		38,000			
給 料	50,000			3,000	47,000			
	326,000	326,000						
当 座 借 越				4,000				4,000
貯 藏 品			3,000				3,000	
貸 倒 引 当 金 繰 入			3,000		3,000			
減 価 償 却 費			1,500		1,500			
前 払 給 料			3,000				3,000	
未 払 保 険 料				5,000				5,000
未 払 消 費 税				5,000				5,000
当 期 純 利 益					16,500			16,500
			63,500	63,500	170,000	170,000	170,000	170,000

Chapter. 20 決算整理仕訳

42 現金過不足の処理

■ 問題 42-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

現金過不足￥10,000は通信費の記帳漏れと判明した。

借方科目	金額	貸方科目	金額
通信費	10,000	現金過不足	10,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	90,000						90,000	
現金過不足	10,000			10,000				
通信費	15,000		10,000		25,000			

■ 問題 42-2 ■

決算となり、現金過不足￥15,200(貸方残高)の原因が判明しなかつたため、これを適当な科目に振り替えた。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金過不足	15,200	雜益	15,200

■ 問題 42-3 ■

現金の実際有高が帳簿残高より￥32,000不足していたので、かねて現金過不足勘定で処理していましたが、決算においてその原因を調べたところ、交通費の支払額￥7,000、通信費の支払額￥18,000および手数料の受取額￥6,000が記入漏れであることが判明した。なお、残額は原因不明のため、これを適当な科目に振り替えた。

借方科目	金額	貸方科目	金額
旅費交通費	7,000	受取手数料	6,000
通信費	18,000	現金過不足	32,000
雜損	13,000		

43

当座借越への振り替え

■ 問題 43-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、当座預金の貸方残高￥1,000を当座借越に振り替える。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	1,000	当座借越	1,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
当座預金		1,000	1,000					
当座借越					1,000			1,000

■ 問題 43-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、当座預金の貸方残高￥1,000を借入金に振り替える。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	1,000	借入金	1,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
当座預金		1,000	1,000					
借入金		30,000			1,000			31,000

44 貯蔵品の処理

■ 問題 44-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、切手の未使用高は、¥5,000 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額
貯蔵品	5,000	通信費	5,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
通信費	12,000			5,000	7,000			
貯蔵品			5,000				5,000	

■ 問題 44-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、収入印紙の未使用高は、¥5,600 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額
貯蔵品	5,600	租税公課	5,600

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
租税公課	15,000			5,600	9,400			
貯蔵品			5,600				5,600	

45

貸倒引当金の設定

■ 問題 45-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

- 当期末の受取手形残高￥10,000、売掛金残高￥8,000 に対して2%の貸倒れを見積もる、なお貸倒引当金の残高は￥200 である。
- 当期末の受取手形残高￥10,000、売掛金残高は￥5,000 に対して2%の貸倒れを見積もる、なお貸倒引当金の残高は￥100 である。

	借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
1	貸倒引当金繰入	160	貸 倒 引 当 金	160
2	貸倒引当金繰入	200	貸 倒 引 当 金	200

■ 問題 45-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算となり、受取手形と売掛金の期末残高に対して、3%の貸倒れを見積もる。差額補充法による。

借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
貸倒引当金繰入	1,600	貸 倒 引 当 金	1,600

勘定科目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
売 掛 金	80,000						80,000	
受 取 手 形	50,000			10,000			40,000	
貸 倒 引 当 金		2,000		1,600				3,600
貸倒引当金(繰入)			1,600		1,600			

46 固定資産の減価償却

■ 問題 46-1 ■

次の各取引について仕訳しなさい。

1. 決算(×3年3月31日)につき、取得原価¥100,000 残存価額0 耐用年数5年の備品について減価償却を行う。
2. 決算(×3年3月31日)につき、取得原価¥100,000 残存価額10%耐用年数5年の備品について減価償却を行う。
3. 決算(×3年3月31日)につき、取得原価¥48,000 残存価額0 耐用年数4年の備品について減価償却を行う。ただし、この備品は当期の12月1日に取得したものであり、減価償却費の計上は月割で行うこと。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却費	20,000	減価償却累計額	20,000
2	減価償却費	18,000	減価償却累計額	18,000
3	減価償却費	4,000	減価償却費累計額	4,000

■ 問題 46-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算に際し、備品の減価償却費を計上した。

備品の取得原価は¥20,000、残存価格0、耐用年数10年の定額法で償却する。

借方科目	金額	貸方科目	金額
減価償却費	2,000	減価償却累計額	2,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
備品	20,000						20,000	
備品減価償却累計額		4,000		2,000				6,000
減価償却費			2,000		2,000			

■ 問題 46-3 ■

次の資料にもとづいて、取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

建 物 4,200,000 円 期首建物減価償却累計額 2,268,000 円

備 品 960,000 円 期首備品減価償却累計額 405,000 円

(決算日:3月 31 日)

- 建物および備品について定額法によって減価償却を行う。ただし、残存価額は建物、備品ともに取得原価の10%、耐用年数は建物については45年、備品については8年とする。
なお、備品のうち240,000円は当期9月1日に取得したものである。新備品の減価償却は耐用年数8年、残存価額は0として行うものとし、月割算によること。

	借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
1	減 価 償 却 費	182,500	建物減価償却累計額 備品減価償却累計額	84,000 98,500

勘定科目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
建 物	4,200,000						4,200,000	
備 品	960,000						960,000	
建物減価償却累計額		2,268,000		84,000				2,352,000
備品減価償却累計額		405,000		98,500				503,500
減 価 償 却 費			182,500		182,500			

47 固定資産の売却

■ 問題 47-1 ■

1. 営業用建物を売却し、代金¥250,000を現金で受取った。
(取得原価¥300,000、減価償却累計額¥100,000)
2. 営業用の自動車を売却し、代金¥100,000を小切手で受取った。
(取得原価¥500,000、減価償却累計額¥300,000)
3. ×5年4月1日に営業用の備品(取得原価:×3年4月1日、取得原価:¥100,000、残存価額:取得原価の10%、耐用年数:5年)を¥70,000で売却し、代金は月末に受けとる。なお、決算日は年1回3月31日である。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却累計額 現金	100,000 250,000	建物 固定資産売却益	300,000 50,000
2	減価償却累計額 現金 固定資産売却損	300,000 100,000 100,000	車両運搬具	500,000
3	減価償却累計額 未収入金	36,000 70,000	備品 固定資産売却益	100,000 6,000

■ 問題 47-2 ■

1. ×5年4月1日に営業用の備品(取得原価:×3年4月1日、取得原価:¥100,000、残存価額:取得原価の10%、耐用年数:5年、減価償却方法:定額法、記帳方法:間接法)を¥70,000で売却し、代金は月末に受けとる。なお、決算日は年1回3月31日である。
2. ○6年3月31日に、不用となった冷暖房機(購入日:○2年1月1日、取得原価:¥300,000、耐用年数:6年、残存価額:取得原価の10%、決算日:年1回3月31日)を¥125,000で売却し、代金は先方振出しの小切手で受け取った。なお、当期分の減価償却費の計上もあわせて記入すること。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却累計額 未収入金	36,000 70,000	備品 固定資産売却益	100,000 6,000
2	減価償却累計額 減価償却費 現金	146,250 45,000 125,000	備品 固定資産売却益	300,000 16,250

48 売上原価の算定（仕入勘定）

■ 問題 48-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算につき、仕入勘定で売上原価を計算する。期末商品棚卸高￥4,000 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	5,000	繰 越 商 品	5,000
繰 越 商 品	4,000	仕 入	4,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰 越 商 品	5,000		4,000	5,000			4,000	
仕 入	30,000		5,000	4,000	31,000			

■ 問題 48-2 ■

次の資料にもとづいて、決算整理仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

・期末の決算整理前の勘定残高

繰越商品 ￥52,000 仕 入 ￥358,000

・期末商品棚卸高 ￥60,000

・売上原価の計算は仕入勘定で行う。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	52,000	繰 越 商 品	52,000
繰 越 商 品	60,000	仕 入	60,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰 越 商 品	52,000		60,000	52,000			60,000	
仕 入	358,000		52,000	60,000	350,000			

49 売上原価の算定（売上原価勘定）

■ 問題 49-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算につき、売上原価勘定で売上原価を計算する。期末商品棚卸高￥4,000 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	5,000	繰越商品	5,000
売上原価	30,000	仕入	30,000
繰越商品	4,000	売上原価	4,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	5,000		4,000	5,000			4,000	
仕入	30,000			30,000				
売上原価			5,000	4,000	31,000			
			30,000					

■ 問題 49-2 ■

次の資料にもとづいて、決算整理仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

- ・期末の決算整理前の勘定残高

繰越商品 ￥52,000 仕入 ￥358,000

- ・期末商品棚卸高 ￥60,000

- ・売上原価の計算は売上原価勘定で行う。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	52,000	繰越商品	52,000
売上原価	358,000	仕入	358,000
繰越商品	60,000	売上原価	60,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	52,000		60,000	52,000			60,000	
仕入	358,000			358,000				
売上原価			52,000	60,000	350,000			
			358,000					

50 消費税の処理

■ 問題 50-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

決算につき、消費税の納付額を計上する。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仮受消費税	2,200	仮払消費税 未払消費税	1,500 700

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
仮払消費税	1,500				1,500			
仮受消費税		2,200	2,200					
未払消費税					700			700

51 費用と収益の前払と前受け

■ 問題 51-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

支払家賃は9/1に支払った1年分である。決算日 3/31

借方科目	金額	貸方科目	金額
前払家賃	7,500	支払家賃	7,500

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
支払家賃	18,000				7,500	10,500		
前払家賃			7,500				7,500	

■ 問題 51-2 ■

当期中の9月1日に1年分の損害保険料￥2,400(@200×12カ月)を現金で支払っており、決算における修正仕訳を行う。(決算:年1回、3月31日)

借方科目	金額	貸方科目	金額
前払保険料	1,000	支払保険料	1,000

■ 問題 51-3 ■

12月1日に￥500,000を返済期限1年で、1年分の利息￥15,000を差引き、差額を現金で貸し付けた。決算の処理を行う。(決算:年1回、3月31日)

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取利息	10,000	前受利息	10,000

52

費用と収益の未払い・未収

■ 問題 52-1 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。
貸付金の利息￥8,000を見越し計上した。

借方科目	金額	貸方科目	金額
未収利息	8,000	受取利息	8,000

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取利息		12,000		8,000		20,000		
未収利息			8,000				8,000	

■ 問題 52-2 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

当期の9月1日に銀行より¥300,000を借入れている。この借入金は返済期限1年、利率年2.4%である。9月1日から3月31日までの利息に関する修正仕訳を行う。(決算:年1回、3月31日)

借方科目	金額	貸方科目	金額
支 払 利 息	4,200	未 払 利 息	4,200

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
借 入 金		300,000						300,000
支 払 利 息			4,200		4,200			
未 払 利 息				4,200				4,200

■ 問題 52-3 ■

取引の仕訳を行い、精算表(一部)も完成させなさい。

取引先に当期中の7月1日に¥300,000を年利率3.6%、返済期限1年で貸付けた。利息は、貸付金返済時に一括決済としている。(決算:年1回、3月31日)

借方科目	金額	貸方科目	金額
未 収 利 息	8,100	受 取 利 息	8,100

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
貸 付 金	300,000						300,000	
受 取 利 息				8,100		8,100		
未 収 利 息			8,100					8,100

53 法人税の計上

■ 問題 53-1 ■

1. 法人税の中間納付を行い、¥30,000を普通預金口座から納付した。
2. 決算の結果、当期の法人税等が¥50,000と確定した。
3. 上記2の未払法人税等を普通預金口座から支払った。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仮 払 法 人 税 等	30,000	普 通 預 金	30,000
2	法人税、住民税及び事業税	50,000	仮 扯 法 人 税 等 未 払 法 人 税 等	30,000 20,000
3	未 払 法 人 税 等	20,000	普 通 預 金	20,000

■ 問題 53-2 ■

決算の結果、当期の法人税等が¥120,000と確定した。なお、中間納付額¥50,000は仮払金で処理している。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
法人税、住民税及び事業税	120,000	仮 払 金 未 払 法 人 税 等	50,000 70,000

54

精算表の作成

■ 問題 54-1 ■

次の決算整理事項に基づいて精算表を完成させなさい。

＜決算整理事項＞

1. 期末商品棚卸高 ¥7,000 売上原価は「仕入」の行で計算する。
2. 貸倒引当金は、売掛金と受取手形の合計額の3%を見積もる。
3. 建物について定額法により減価償却費を計上する。耐用年数5年、残存価額は0である。

1 仕 入	6,000	繰 越 商 品	6,000
繰 越 商 品	7,000	仕 入	7,000
2 貸倒引当金繰入	500	貸 倒 引 当 金	500
3 減 価 償 却 費	8,000	減 価 償 却 累 計 額	8,000

勘定科目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	18,000						18,000	
当 座 預 金	28,000						28,000	
売 掛 金	20,000						20,000	
受 取 手 形	10,000						10,000	
繰 越 商 品	6,000		7,000	6,000			7,000	
建 物	40,000						40,000	
買 掛 金		5,000						5,000
支 払 手 形		7,000						7,000
貸 倒 引 当 金		400		500				900
減 価 償 却 累 計 額		8,000		8,000				16,000
資 本 金		60,000						60,000
繰 越 利 益 剰 余 金		29,600						29,600
売 上		51,000				51,000		
仕 入	29,000		6,000	7,000	28,000			
保 険 料	8,000				8,000			
給 料	2,000				2,000			
	161,000	161,000						
貸 倒 引 当 金 繰 入			500		500			
減 価 償 却 費			8,000		8,000			
当 期 純 利 益					4,500			4,500
			21,500	21,500	51,000	51,000	123,000	123,000

■ 問題 54-2 ■

次の決算整理事項に基づいて精算表を完成させなさい。

<決算整理事項>

1. 現金過不足のうち 600 円は、売掛金の回収分であった。
なお、残りは原因不明のため適切に処理する。
2. 期末商品棚卸高は¥3,000 である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
3. 貸倒引当金は、売掛金と受取手形の合計額の 3%を見積もる。
4. 建物について定額法により減価償却費を計上する。
耐用年数 10 年、残存価額は取得原価の 10%である。
5. 給料の未払分が¥1,000 ある。

1	現 金 過 不 足	1,000	売 掛 金	600
			雜 益	400
2	仕 入	4,000	繰 越 商 品	4,000
	繰 越 商 品	3,000	仕 入	3,000
3	貸 倒 引 当 金 繰 入	182	貸 倒 引 当 金	182
4	減 価 償 却 費	4,500	減 価 償 却 累 計 額	4,500
5	給 料	1,000	未 払 給 料	1,000

精 算 表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	20,000						20,000	
現 金 過 不 足		1,000	1,000					
当 座 預 金	70,000						70,000	
売 掛 金	15,000			600			14,400	
受 取 手 形	5,000						5,000	
繰 越 商 品	4,000		3,000	4,000			3,000	
建 物	50,000						50,000	
買 掛 金		7,600						7,600
支 払 手 形		8,000						8,000
貸 倒 引 当 金		400		182				582
減 価 償 却 累 計 額		25,000		4,500				29,500
資 本 金		60,000						60,000
繰 越 利 益 剰 余 金		36,000						36,000
売 上		63,600				63,600		
仕 入	35,000		4,000	3,000	36,000			
給 料	2,000		1,000		3,000			

保 険 料	600				600			
	201,600	201,600						
雜 益			400		400			
貸 倒 引 当 金 繰 入		182		182				
減 價 償 却 費		4,500		4,500				
(未 払) 給 料			1,000				1,000	
当 期 純 (利 益)				19,718			19,718	
		13,682	13,682	64,000	64,000	162,400	162,400	

■ 問題 54-3 ■

次の決算修正事項にもとづいて解答欄の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は○1年4月1日から○2年3月31日までの1年である。

〈決算修正事項〉

1. 現金の実際手許有高は¥11,000 である。
2. 当座預金の貸方残高を当座借越に振り替える。
3. 売上債権の期末残高に対し実績率法により 3%の貸倒れを見積る。なお、貸倒引当金の設定は差額補充法による。
4. 期末商品棚卸高は¥28,000 である。売上原価は「仕入」の行で計算すること。
5. 切手の期末未消費高が¥1,200 ある。
6. 建物および備品について定額法により減価償却を行う。ただし、残存価額は建物・備品ともに取得原価の 10%，耐用年数は建物については 30 年、備品については 9 年とする。
7. 支払保険料は 1 年分で、保険契約後決算日までの経過期間は 7 カ月である。
8. 借入金は○1年10月1日に借入期間1年、利率年 8.25%で借り入れたものであり、利息は元金の返済時に支払うことになっている。利息は月割計算による。

1 現 金	600	雜 益	600
2 当 座 預 金	10,000	當 座 借 越	10,000
3 貸 倒 引 当 金 繰 入	1,000	貸 倒 引 当 金	1,000
4 仕 入	22,500	繰 越 商 品	22,500
繰 越 商 品	28,000	仕 入	28,000
5 貯 藏 品	1,200	通 信 費	1,200
6 減 價 償 却 費	3,300	建 物 減 價 償 却 累 計 額	1,800
		備 品 減 價 償 却 累 計 額	1,500
7 前 払 保 険 料	1,500	支 払 保 険 料	1,500
8 支 払 利 息	825	未 払 利 息	825

精算表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	10,400		600				11,000	
当 座 預 金		10,000	10,000					
売 掛 金	33,000						33,000	
受 取 手 形	57,000						57,000	
繰 越 商 品	22,500		28,000	22,500			28,000	
建 物	60,000						60,000	
備 品	15,000						15,000	
支 払 手 形		24,600						24,600
買 掛 金		22,900						22,900
借 入 金		20,000						20,000
貸 倒 引 当 金		1,700		1,000				2,700
建物減価償却累計額		10,600		1,800				12,400
備品減価償却累計額		6,000		1,500				7,500
資 本 金		40,000						40,000
繰 越 利 益 剰 余 金		32,100						32,100
売 上		157,200				157,200		
仕 入	79,500		22,500	28,000	74,000			
給 料	31,200				31,200			
通 信 費	12,000			1,200	10,800			
支 払 保 険 料	3,600			1,500	2,100			
支 払 利 息	900		825		1,725			
	325,100	325,100						
雜 (益)				600		600		
当 座 借 越				10,000				10,000
貸 倒 引 当 金 繰 入			1,000		1,000			
(貯 藏 品)			1,200				1,200	
減 働 償 却 費			3,300		3,300			
(前 払) 保 険 料			1,500				1,500	
(未 払) 利 息			825					825
当 期 純 (利 益)				33,675				33,675
			68,925	68,925	157,800	157,800	206,700	206,700

■ 問題 54-4 ■

次の決算修正事項にもとづいて解答欄の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は○1年4月1日から○2年3月31日までの1年である。

<決算修正事項>

1. 現金の実際有高は¥15,000 であった。帳簿残額との差額のうち¥2,100 は通信費の記帳漏れであることが判明したが、残高は不明のため、雑損または雑益に振り替える。
2. 売掛代金の当座預金口座への入金¥5,300 の取引が、誤って借方・貸方ともに¥3,500 と記帳されていたのでその修正を行った。
3. 当月の水道光熱費¥500 が当座預金口座から引き落とされていたが、未処理であった。
4. 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
5. 期末商品棚卸高は¥18,000 である。
6. 備品について、残存価額をゼロ、耐用年数を8年とする定額法により減価償却を行う。
7. 消費税の処理(税抜方式)を行う。
8. 借入金は○1年6月1日に借入期間1年、利率年6%で借り入れたもので、利息は11月末日と返済日に6か月分をそれぞれ支払うことになっている。利息の計算は月割による。
9. 支払家賃のうち¥12,000 は○1年11月1日に向こう6か月分を支払ったものである。そこで、前払分を月割りにより計上する。

1	通 信 費	2,100	現 金	3,000
	雑 損	900		
2	当 座 預 金	1,800	売 掛 金	1,800
3	水 道 光 熱 費	500	当 座 預 金	500
4	貸 倒 引 当 金 繰 入	444	貸 倒 引 当 金	444
5	仕 入	20,000	繰 越 商 品	20,000
	繰 越 商 品	18,000	仕 入	18,000
6	減 価 償 却 費	15,000	減 価 償 却 累 計 額	15,000
7	仮 受 消 費 税	45,000	仮 払 消 費 税	20,000
			未 払 消 費 税	25,000
8	支 払 利 息	800	未 払 利 息	800
9	前 払 家 賃	2,000	支 払 家 賃	2,000

精算表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	18,000			3,000			15,000	
当 座 預 金	57,000		1,800	500			58,300	
売 掛 金	49,000			1,800			47,200	
繰 越 商 品	20,000		18,000	20,000			18,000	
仮 払 消 費 税	20,000			20,000				
備 品	120,000						120,000	
土 地	270,000						270,000	
買 掛 金		66,200						66,200
借 入 金		40,000						40,000
仮 受 消 費 税		45,000	45,000					
貸 倒 引 当 金		500		444				944
減 価 償 却 累 計 額		30,000		15,000				45,000
資 本 金		200,000						200,000
繰 越 利 益 剰 余 金		145,500						145,500
売 上		450,000				450,000		
仕 入	200,000		20,000	18,000	202,000			
給 料	180,000				180,000			
支 払 家 賃	30,000			2,000	28,000			
水 道 光 熱 費	4,000		500		4,500			
通 信 費	6,000		2,100		8,100			
保 険 料	2,000				2,000			
支 払 利 息	1,200		800		2,000			
	977,200	977,200						
雜 (損)			900		900			
貸 倒 引 当 金 繰 入			444		444			
減 価 償 却 費			15,000		15,000			
(未 払) 消 費				25,000				25,000
(未 払) 利 息				800				800
(前 払) 家 賃			2,000				2,000	
當 期 純 (利 益)					7,056			7,056
			126,544	126,544	450,000	450,000	530,500	530,500

Chapter. 21 財務諸表の作成

55 財務諸表の作成

■ 問題 55-1 ■

以下の決算整理後残高試算表にもとづいて、解答用紙の損益計算書と貸借対照表を完成させなさい。

決算整理後残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
240,000	現金	
330,000	当座預金	
210,000	売掛金	
180,000	繰越商品	
3,000	貯蔵品	
700	前払家賃	
200,000	備品	
	買掛金	180,000
	借入金	50,000
	貸倒引当金	6,300
	備品減価償却累計額	100,000
	資本金	100,000
	繰越利益剰余金	90,700
	売上	860,000
	受取手数料	150,000
340,000	仕入	
7,000	租税公課	
12,000	支払家賃	
1,000	雑損	
3,300	貸倒引当金繰入	
10,000	減価償却費	
1,537,000		1,537,000

損益計算書

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 價	(340,000)	売 上 高	(860,000)
租 稅 公 課	(7,000)	受 取 手 数 料	(150,000)
支 払 家 賃	(12,000)		
雜 損	(1,000)		
貸 倒 引 当 金 繰 入	(3,300)		
減 價 償 却 費	(10,000)		
当 期 純 利 益	(636,700)		
	(1,010,000)		(1,010,000)

貸借対照表

資 産	金 額	負 債・純資 産	金 額
現 金	(240,000)	買 掛 金	(180,000)
当 座 預 金	(330,000)	借 入 金	(50,000)
売 掛 金	(210,000)	資 本 金	(100,000)
貸 倒 引 当 金	(6,300) (203,700)	繰 越 利 益 剰 余 金	(90,700)
前 払 家 賃	(700)	当 期 純 利 益	(636,700)
商 品	(180,000)		
貯 藏 品	(3,000)		
備 品	(200,000)		
減 價 償 却 累 計 額	(100,000) (100,000)		
	(1,057,400)		(1,057,400)

■ 問題 55-2 ■

以下の決算整理後残高試算表にもとづいて、解答用紙の損益計算書と貸借対照表を完成させなさい。

決算整理後残高試算表

借方残高	勘定科目	貸方残高
120,000	現金	
80,000	普通預金	
110,000	売掛金	
70,000	繰越商品	
3,000	前払保険料	
150,000	建物	
200,000	備品	
	支払手形	180,000
	未払給料	50,000
	貸倒引当金	7,000
	建物減価償却累計額	100,000
	備品減価償却累計額	120,000
	資本金	100,000
	繰越利益剰余金	100,000
	売上	500,000
	受取手数料	70,000
220,000	仕入	
9,000	貸倒引当金繰入	
20,000	減価償却費	
240,000	給料	
5,000	保険料	
1,227,000		1,227,000

損益計算書

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 價	(220,000)	売 上 高	(500,000)
給 料	(240,000)	受 取 手 数 料	(70,000)
保 険 料	(5,000)		
貸 倒 引 当 金 (繰 入)	(9,000)		
(減 價 償 却 費)	(20,000)		
当 期 純 利 益	(76,000)		
	(570,000)		(570,000)

貸借対照表

資 产	金 額	負 債・純 資 产	金 額
現 金	(120,000)	支 払 手 形	(180,000)
普 通 預 金	(80,000)	(未 払) 費 用	(50,000)
売 掛 金	(110,000)	資 本 金	(100,000)
(貸 倒 引 当 金)	(7,000) (103,000)	(繰 越 利 益 剰 余 金)	(100,000)
商 品	(70,000)	当 期 純 利 益	(76,000)
(前 払) 費 用	(3,000)		
建 物	(150,000)		
(減 價 償 却 累 計 額)	(100,000) (50,000)		
備 品	(200,000)		
(減 價 償 却 累 計 額)	(120,000) (80,000)		
	(506,000)		(506,000)

■ 問題 55-3 ■

次の決算整理前残高試算表および期末整理事項にもとづいて、答案用紙の損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。ただし、会計期間はX5年4月1日からX6年3月31日までの1年である。

決算整理前残高試算表

X6年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
284,000	現 金	
375,000	当 座 預 金	
485,000	受 取 手 形	
515,000	売 掛 金	
193,000	繰 越 商 品	
200,000	貸 付 金	
400,000	備 品	
	支 払 手 形	283,000
	買 掛 金	202,000
	借 入 金	150,000
	貸 倒 引 当 金	14,000
	減 価 償 却 累 計 額	144,000
	資 本 金	900,000
	繰 越 利 益 剰 余 金	300,000
	売 上	2,762,000
	受 取 利 息	8,000
1,811,000	仕 入	
404,000	給 料	
90,000	支 払 地 代	
6,000	支 払 利 息	
4,763,000		4,763,000

(期末整理事項)

- 現金の実際手元有高は¥310,000であった。理由は不明のため適切に処理する。
- 期末商品棚卸高は¥180,000である。
- 受取手形および売掛金の期末残高に対して差額補充法により3%の貸倒れを設定する。
- 備品について定額法により減価償却を行う。なお、備品の耐用年数は10年で、残存価額は取得原価の10%である。
- 支払地代は毎年7月1日に向こう1年分を支払っている。本年度も昨年度と同額を支払っている。
- 貸付金はX5年8月1日に貸付期間1年間、利率年6%で貸し付けたものであるが、利息は返済期日に元金とともに一括して受け取ることにしている。利息の計算は月割りによる。
- 支払利息の未払分が¥3,000ある。

1 現 金	26,000	雜 益	26,000
2 仕 入	193,000	繰 越 商 品	193,000
繰 越 商 品	180,000	仕 入	180,000
3 貸 倒 引 当 金 繰 入	16,000	貸 倒 引 当 金	16,000
4 減 億 償 却 費	36,000	減 億 償 却 累 計 額	36,000
5 前 払 地 代	18,000	支 払 地 代	18,000
6 未 収 利 息	8,000	受 取 利 息	8,000
7 支 払 利 息	3,000	未 扖 利 息	3,000

損益計算書 (単位: 円)

費 用	金 額	収 益	金 額
(売 上 原 価)	(1,824,000)	売 上 高	(2,762,000)
給 料	(404,000)	受 取 利 息	(16,000)
支 払 地 代	(72,000)	(雜 益)	(26,000)
貸 倒 引 当 金 繰 入	(16,000)		
減 億 償 却 費	(36,000)		
支 払 利 息	(9,000)		
(当 期 純 利 益)	(443,000)		
	(2,804,000)		(2,804,000)

貸 借 対 照 表

資 産 の 部		負 債・純資 産 の 部	
現 金	(310,000)	支 払 手 形	(283,000)
当 座 預 金	(375,000)	買 掛 金	(202,000)
受 取 手 形	(485,000)	借 入 金	(150,000)
壳 掛 金	(515,000)	(未 扖) 費 用	(3,000)
貸 倒 引 当 金	(30,000)	資 本 金	(900,000)
商 品	(180,000)	繰 越 利 益 剰 余 金	(300,000)
貸 付 金	(200,000)	(当 期 純 利 益)	(443,000)
(前 扖) 費 用	(18,000)		
(未 収) 収 益	(8,000)		
備 品	(400,000)		
減 億 儻 却 累 計 額	(180,000)		
	(2,281,000)		(2,281,000)

■ 問題 55-4 ■

次の決算整理前残高試算表および期末整理事項にもとづいて、答案用紙の損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。ただし、会計期間はX5年4月1日からX6年3月31日までの1年である。

決算整理前残高試算表

X6年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
135,000	現 金	
3,000	現 金 過 不 足	
163,000	普 通 預 金	
	当 座 預 金	46,000
120,000	売 掛 金	
30,000	仮 払 金	
69,000	繰 越 商 品	
360,000	建 物	
50,000	備 品	
440,000	土 地	
	買 掛 金	74,500
	借 入 金	320,000
	貸 倒 引 当 金	1,500
	建物減価償却累計額	118,000
	備品減価償却累計額	30,000
	資 本 金	400,000
	繰 越 利 益 剰 余 金	285,800
	売 上	867,000
530,000	仕 入	
180,000	給 料	
26,800	通 信 費	
10,000	旅 費 交 通 費	
21,000	保 險 料	
5,000	支 払 利 息	
2,142,800		2,142,800

(期末整理事項)

- 売掛金￥20,000が普通預金に振り込まれていたが、未記帳である。
- 仮払金は全額1月26日に支払った備品の購入に係るものである。この備品は2月1日に納品され、同日から使用しているが、未記帳である。
- 現金過不足の原因を調査したところ、旅費交通費￥2,800の記帳漏れが判明したが、残額は原因不明のため適切に処理する。
- 当座預金勘定の貸方残高全額を当座借越勘定に振り替える。なお、当社は取引銀行との間に￥1,000,000を借越限度とする当座借越契約を締結している。
- 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法で設定する。
- 期末商品棚卸高は￥56,000である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
- 建物および備品について、以下の要領で定額法による減価償却を行う。2月1日から使用している備品（上記2参照）についても同様に減価償却を行うが、減価償却費は月割計算する。
建物：残存価額ゼロ 耐用年数30年
備品：残存価額ゼロ 耐用年数5年
- 借入金のうち￥120,000は、期間1年間、利率年3%、利息は元本返済時に1年分を支払う条件で、当期の12月1日に借り入れたものである。当期にすでに発生している利息を月割りで計上する。
- 保険料の前払分￥3,000を計上する。

1	普 通 預 金	20,000	壳 掛 金	20,000
2	備 品	30,000	仮 払 金	30,000
3	旅 費 交 通 費 雜 損	2,800 200	現 金 過 不 足	3,000
4	当 座 預 金	46,000	当 座 借 越	46,000
5	貸 倒 引 当 金 繼 入	500	貸 倒 引 当 金	500
6	仕 入 繰 越 商 品	69,000 56,000	繰 越 商 品 仕 入	69,000 56,000
7	減 價 償 却 費	23,000	建物減価償却累計額 備品減価償却累計額	12,000 11,000
8	支 払 利 息	1,200	未 払 利 息	1,200
9	前 払 保 険 料	3,000	保 険 料	3,000

損益計算書 (単位：円)

費用	金額	収益	金額
売上原価	(543,000)	売上高	(867,000)
給料	(180,000)		
通信費	(26,800)		
貸倒引当金繰入	(500)		
(減価償却費)	(23,000)		
旅費交通費	(12,800)		
保険料	(18,000)		
支払利息	(6,200)		
雑損	(200)		
(当期純利益)	(56,500)		
	(867,000)		(867,000)

貸借対照表

資産の部		負債・純資産の部		
現金		(135,000)	(当座借越)	(46,000)
普通預金		(183,000)	買掛金	(74,500)
売掛金	(100,000)		借入金	(320,000)
貸倒引当金	(2,000)	(98,000)	(未払)費用	(1,200)
商品		(56,000)	資本金	(400,000)
(前払)費用		(3,000)	繰越利益剰余金	(285,800)
建物	(360,000)		(当期純利益)	56,500
建物減価償却累計額	(130,000)	(230,000)		
備品	(80,000)			
備品減価償却累計額	(41,000)	(39,000)		
土地		(440,000)		
		(1,184,000)		(1,184,000)

Chapter. 22 勘定の締切り

56 帳簿の締切り

■ 問題 56-1 ■

支払家賃の決算整理後の記入状況は次の通りであった。この費用の勘定を損益勘定に振り替える決算仕訳を書きなさい。

支払家賃	
現 金	100,000

借 方 科 目	金 頓	貸 方 科 目	金 頓
損 益	100,000	支 払 家 賃	100,000

■ 問題 56-2 ■

受取家賃の決算整理後の記入状況は次の通りであった。この収益の勘定を損益勘定に振り替える決算仕訳を書きなさい。

受取家賃	
	現 金 70,000

借 方 科 目	金 頓	貸 方 科 目	金 頓
受 取 家 賃	70,000	損 益	70,000

■ 問題 56-3 ■

次の決算整理後の各勘定残高にもとづいて、解答用紙に決算振替仕訳をし、あわせて総勘定元帳の記入を行なさい。なお、()内に勘定科目と金額を記入すること。

1. 次の諸勘定の残高を損益勘定に振り替える。

売 上 ¥100,000 受取利息 ¥2,000

仕 入 ¥20,000 支払家賃 ¥10,000

2. 1の損益勘定の残高を繰越利益剰余金勘定に振り替える。

	借 方 科 目	金 領	貸 方 科 目	金 領
1	売 上 受 取 利 息 損 益	100,000 2,000 30,000	損 益 仕 入 支 払 家 賃	102,000 20,000 10,000
2	損 益	72,000	繰越利益剰余金	72,000

売 上	
(損 益)	(100,000)
受取利息	
(損 益)	(2,000)
仕 入	
諸 口	20,000
支 払 家 賃	
当座預金	10,000
損 益	
(仕 入)	(20,000)
(支 払 家 賃)	(10,000)
(繰越利益剰余金)	(72,000)
	(102,000)
(売 上)	
(受 取 利 息)	
(102,000)	

Chapter. 23 証ひょう仕訳

57 証ひょう仕訳

■ 問題 57-1 ■

以下の証ひょうから取引を読み取り、仕訳を行なさい。

事務所用のパソコンを購入し、次の請求書を受け取った。代金は今月末に支払う事になっている。

請求書			
東京商店 様	埼玉電器		
費目	数量	単価	金額
デスクトップパソコン	2	50,000	¥100,000
設置費用	一	5,000	¥5,000
	合計		¥105,000

借方科目	金額	貸方科目	金額
備品	105,000	未 払 金	105,000

■ 問題 57-2 ■

以下の証ひょうから取引を読み取り、仕訳を行なさい。

事務所用のパソコンを購入し代金を現金で支払い、次の領収書を受け取った。

なお、消費税は税抜き方式で処理している。

領収書			
東京商店 様	埼玉電器		
費目	数量	単価	金額
デスクトップパソコン	2	50,000	¥100,000
消費税			¥10,000
	合計		¥110,000

借方科目	金額	貸方科目	金額
備品	100,000		
仮 払 消 費 税	10,000	現金	110,000

■ 問題 57-3 ■

以下の証ひょうから取引を読み取り、仕訳を行いなさい。

大阪商店へ商品を売上げ、代金は全額掛けとした。なお、消費税は税抜き方式で処理している。

請求書(控え)			
大阪商店 様	東京商店		
費目	数量	単価	金額
コピー用紙(A4 500枚)	2	1,000	¥2,000
		消費税	¥200
		合計	¥2,200

借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金	2,200	売上 仮受消費税	2,000 200

■ 問題 57-4 ■

以下の証ひょうから取引を読み取り、仕訳を行いなさい。

出張から戻った従業員から、以下の領収書が提出され、概算払いしていた¥1,000との差額を現金で受け取った。

領収書
運賃 420
市バス

領収書
運賃 500
都電

借方科目	金額	貸方科目	金額
旅費交通費現金	920 80	仮払金	1,000

Chapter. 24 伝票

58 3 伝票制

■ 問題 58-1 ■

次の伝票はある取引にもとづいて作成されたものである。これらの伝票にもとづき、取引を推定し、その仕訳をしなさい。ただし、3 伝票制により起票している。

入金伝票	
科目	金額
売掛金	60,000

出金伝票	
科目	金額
借入金	60,000

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	借方科目
仕 入	140,000	支 払 手 形	140,000

	借方科目	金額	貸方科目	金額
入金伝票	現金	60,000	売掛金	60,000
出金伝票	借入金	60,000	現金	60,000
振替伝票	仕入	140,000	支払手形	140,000

■ 問題 58-2 ■

次の伝票はひとつの取引にもとづいて作成されたものである。これらの伝票にもとづき、取引を推定し、その仕訳をしなさい。ただし、3伝票制により起票している。

入金伝票	
科目	金額
売掛金	20,000

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	借方科目
売掛金	120,000	売上	120,000

	借方科目	金額	貸方科目	金額
	現 売 売 掛 金 金	20,000 100,000	売 上	120,000

■ 問題 58-3 ■

次の伝票はひとつの取引にもとづいて作成されたものである。これらの伝票にもとづき、取引を推定し、その仕訳をしなさい。ただし、3伝票制により起票している。

出金伝票	
科目	金額
仕 入	30,000

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	借方科目
仕 入	70,000	買掛金	70,000

	借方科目	金額	貸方科目	金額
	仕 入	100,000	現 買 売 掛 金 金	30,000 70,000

■ 問題 58-4 ■

次の(1)および(2)の2枚の伝票は、下記の取引について2通りの方法で作成されたものである。各伝票の()に記入すべき勘定科目または金額を答案用紙の所定の欄に記入しなさい。

[取引] 商品￥450,000を売り渡し、代金のうち￥150,000は現金で受け取り、残額は掛とした。

(1)

入金伝票	
科目	金額
売掛金	(①)

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
(②)	(③)	(④)	(③)

(2)

入金伝票	
科目	金額
売上	(⑤)

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
(⑥)	(⑦)	(⑧)	(⑦)

①	150,000	②	売掛金	③	450,000	④	売上
⑤	150,000	⑥	売掛金	⑦	300,000	⑧	売上

■ 問題 58-5 ■

次の(1)および(2)の2枚の伝票は、下記の取引について2通りの方法で作成されたものである。各伝票の()に記入すべき勘定科目または金額を答案用紙の所定の欄に記入しなさい。

[取引] 商品￥300,000を仕入れ、代金のうち￥50,000は現金で支払い、残額は掛とした。

(1)

出金伝票	
科目	金額
買掛金	(①)

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
(②)	(③)	(④)	(③)

(2)

出金伝票	
科目	金額
仕入	(⑤)

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
(⑥)	(⑦)	(⑧)	(⑦)

①	50,000	②	仕入	③	300,000	④	買掛金
⑤	50,000	⑥	仕入	⑦	250,000	⑧	買掛金

Chapter. 25 仕訳日計表

59 3伝票制

■ 問題 59-1 ■

大宮商店では、毎日の取引を入金伝票、出金伝票および振替伝票の3種類の伝票に記入し、これを1日分ずつ集計して日計表を作成し、この日計表から総勘定元帳に転記している。同店の11月1日の取引について作成された次の伝票にもとづき、仕訳日計表を作成しなさい。

<u>入金伝票</u>	No.101
売掛金	700

<u>出金伝票</u>	No.201
買掛金	800

<u>振替伝票</u>	No.301
買掛金	200
支払手形	200

<u>入金伝票</u>	No.102
売掛金	600

<u>出金伝票</u>	No.202
給料	1,000

<u>振替伝票</u>	No.302
売掛金	400
売上	400

<u>入金伝票</u>	No.103
受取手形	600

<u>出金伝票</u>	No.203
支払手形	500

<u>振替伝票</u>	No.303
受取手形	400
売掛金	400

仕 訳 日 計 表

×年11月1日

7

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
1,900	省略	現金		2,300
400		受取手形		600
400		売掛金		1,700
500		支払手形		200
1,000		買掛金		
		売上		400
1,000		給料		
5,200				5,200

■ 問題 59-2 ■

江南商店では、毎日の取引を入金伝票、出金伝票および振替伝票の3種類の伝票に記入し、これを1日分ずつ集計して日計表を作成し、この日計表から総勘定元帳に転記している。同店の5月1日の取引について作成された仕訳日計表にもとづいて、総勘定元帳への転記を行なさい。

仕 訳 日 計 表

×年 5月 1日

7

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
670		現 金		300
500	2	受 取 手 形	2	100
420	3	売 掛 金	3	500
150	5	支 払 手 形	5	400
300		買 掛 金		150
30	9	売 上	9	800
200		仕 入		20
2,270				2,270

総 勘 定 元 帳

受取手形

2

×年		摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
5	1	前 月 繰 越	✓	5,000		借	5,000
〃	仕 訳 日 計 表		7	500		〃	5,500
〃	〃		〃		100	〃	5,400

売 掛 金

3

×年		摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
5	1	前 月 繰 越	✓	1,000		借	1,000
〃	仕 訳 日 計 表		7	420		〃	1,420
〃	〃		〃		500	〃	920

支 払 手 形

5

×年		摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
5	1	前 月 繰 越	✓		1,400	貸	1,400
〃	仕 訳 日 計 表		7		400	〃	1,800
〃	〃		〃	150		〃	1,650

売 上

9

×年		摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
5	1	前 月 繰 越	✓		4,000	貸	4,000
〃	仕 訳 日 計 表		7		800	〃	4,800
〃	〃		〃	30		〃	4,770

■ 問題 59-3 ■

8月1日の取引について作成された次の伝票にもとづき、得意先元帳と仕入先元帳に転記しなさい。

<u>入金伝票</u>	No.101
売掛金 (A社) 500	

<u>出金伝票</u>	No.201
買掛金 (C社) 300	

<u>振替伝票</u>	No.301
買掛金 (D社) 60	
仕 入 60	

<u>入金伝票</u>	No.102
売掛金 (B社) 300	

<u>出金伝票</u>	No.202
仕 入 800	

<u>振替伝票</u>	No.302
売掛金 (B社) 500	
売 上 500	

<u>入金伝票</u>	No.103
売 上 200	

<u>出金伝票</u>	No.203
支払家賃 900	

<u>振替伝票</u>	No.303
受取手形 400	
売掛金 (A社) 400	

得意先元帳

A社 1

×年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
11 1	前月繰越	✓	1,000		借	1,000
"	入金伝票	101		500	"	500
"	振替伝票	303		400	"	100

B社 2

×年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
11 1	前月繰越	✓	2,000		借	2,000
"	入金伝票	102		300	"	1,700
"	振替伝票	302	500		"	2,200

仕入先元帳

C社 1

×年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
11 1	前月繰越	✓		3,000	貸	3,000
"	出金伝票	201	300		"	2,700

D社 2

×年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
11 1	前月繰越	✓		4,000	貸	4,000
"	振替伝票	301	60		"	3,940

■ 問題 59-4 ■

8月1日の取引について作成された次の伝票にもとづき、(1)仕訳日計表を作成し、(2)各元帳に転記しなさい。

<u>入金伝票</u> No.101 売掛金(A社) 600	<u>出金伝票</u> No.201 買掛金(X社) 400	
<u>入金伝票</u> No.102 受取手形 1,000	<u>出金伝票</u> No.202 仕 入 500	
<u>入金伝票</u> No.103 売 上 900	<u>出金伝票</u> No.203 給 料 300	
<u>振替伝票</u> No.301 仕 入 400 買掛金(X社) 400	<u>振替伝票</u> No.303 売掛金(A社) 300 売 上 300	<u>振替伝票</u> No.305 買掛金(X社) 100 支払手形 100
<u>振替伝票</u> No.302 買掛金(X社) 50 仕 入 50	<u>振替伝票</u> No.304 仕 入 200 支払手形 200	<u>振替伝票</u> No.306 受取手形 150 売掛金(A社) 150

仕 訳 日 計 表

×年8月1日

11

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
2,500		現 金		1,200
150	3	受 取 手 形	3	1,000
300		売 掛 金		750
		支 払 手 形		300
550		買 掛 金		400
		売 上	7	1,200
1,100		仕 入		50
300		給 料		
4,900				4,900

総勘定元帳

受取手形

3

×年		摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
8	1	前月繰越	✓	2,000		借	2,000
〃	仕訳日計表	11		150		〃	2,150
〃	〃	〃			1,000	〃	1,150

売上

7

×年		摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
8	1	前月繰越	✓		3,000	貸	3,000
〃	仕訳日計表	11			1,200	〃	4,200

得意先元帳

A社

1

×年		摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
8	1	前月繰越	✓	3,000		借	3,000
〃	入金伝票	101			600	〃	2,400
〃	振替伝票	303		300		〃	2,700
〃	〃	306			150	〃	2,550

仕入先元帳

X社

1

×年		摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
8	1	前月繰越	✓		8,000	貸	8,000
〃	出金伝票	201		400		〃	7,600
〃	振替伝票	301			400	〃	8,000
〃	〃	302		50		〃	7,950
〃	〃	305		100		〃	7,850

Chapter. 26 固定資産台帳

60

固定資産台帳

■ 問題 60-1 ■

以下の資料にもとづき、×6年3月31日(決算日)現在の固定資産台帳を記入しなさい。

備品 A

取得年月日: ×3年4月1日
数量: 1
耐用年数: 5年
取得原価: ¥10,000
期首減価償却累計額: ¥4,000
当期減価償却費: ¥2,000

備品 B

取得年月日: ×5年10月1日
数量: 3
耐用年数: 6年
取得原価: ¥24,000
期首減価償却累計額: ¥0
当期減価償却費: ¥2,000

固定資産台帳

×6年3月31日

取得日	名称	数量	耐用年数	取得原価	期首減価償却累計額	差引期首帳簿価額	当期減価償却費	期末帳簿価額
×3年4月1日	備品A	1	5	10,000	4,000	6,000	2,000	4,000
×5年10月1日	備品B	3	6	24,000	0	24,000	2,000	22,000

■ 問題 60-2 ■

以下の資料にもとづき、×5年3月31日(決算日)現在の固定資産台帳を記入しなさい。

備品 A

取得年月日: ×1年4月1日

数量: 1

耐用年数: 10年 残存価額: 0

残存価額: 0

償却方法: 定額法

取得原価: ¥100,000

備品 B

取得年月日: ×4年10月1日

数量: 2

耐用年数: 6年

残存価額: 0

償却方法: 定額法

取得原価: ¥60,000

固定資産台帳

×5年3月31日

取得日	名称	数量	耐用 年数	取得 原価	期首減価償却 累計額	差引期首 帳簿価額	当期 減価償却費	期末 帳簿価額
×1年4月1日	備品A	1	10	100,000	30,000	70,000	10,000	60,000
×4年10月1日	備品B	2	6	60,000	0	60,000	5,000	55,000